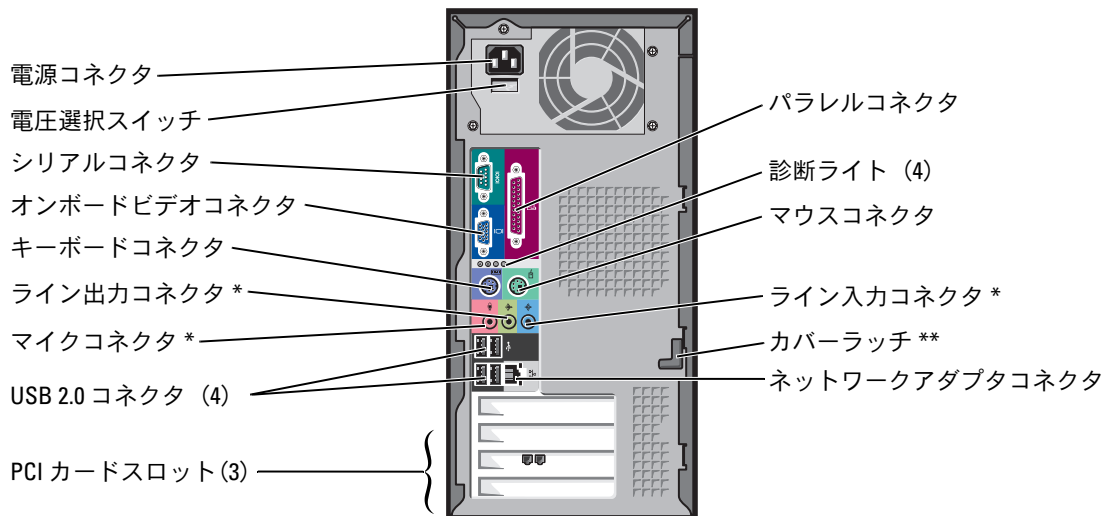
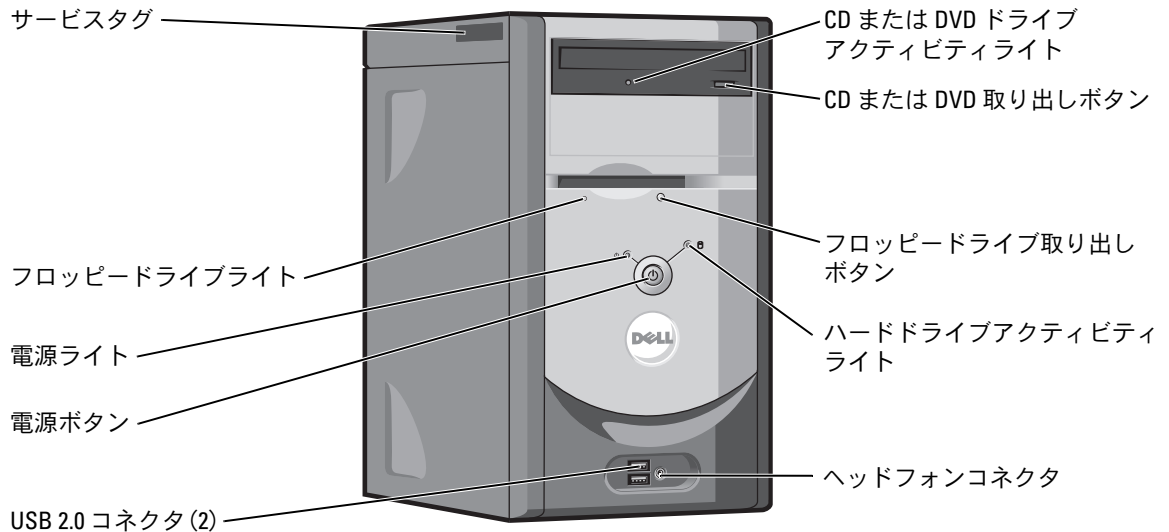


Dell™ Dimension™ 1100/B110

オーナーズマニュアル






*内蔵サウンドが搭載されたコンピュータの場合。

** 機種によってはない場合があります。

Model DMC

メモ、注意、警告

-  **メモ**：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意**：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。
-  **警告**：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

Dell™ n シリーズコンピュータをご購入された場合、このマニュアル内の Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに関する記述は適用されません。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2006 全ての著作権は Dell Inc. にあります。

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書で使用されている商標について：Dell、DELL ロゴ、Inspiron、Dell Precision、Dimension、OptiPlex、Latitude、PowerEdge、PowerVault、PowerApp、PowerConnect、および Dell OpenManage は Dell Inc. の商標です。Intel、Pentium、および Celeron は Intel Corporation の登録商標です。Microsoft、Windows、および Outlook は Microsoft Corporation の登録商標です。

本書では、必要に応じて上記以外の商標や会社名が使用されている場合がありますが、これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に所属するものではありません。

Model DMC

2006 年 9 月

P/N WD495

Rev. A04

目次

情報の入手方法	7
1 コンピュータのセットアップと使い方	
プリンタのセットアップ	9
プリンタケーブル	9
USB プリンタの接続	9
パラレルプリンタの接続	10
家庭用および企業用ネットワークのセットアップ	11
ネットワークアダプタへの接続	11
ネットワークセットアップウィザード	12
インターネットへの接続	13
インターネット接続のセットアップ	13
CD および DVD の再生	14
音量の調節	16
画面の調整	16
CD および DVD のコピー	16
CD または DVD のコピー方法	17
空の CD および DVD の使い方	17
役に立つヒント	18
ハイパースレッディング	19
2 問題の解決	
トラブルシューティングのヒント	21
バッテリーの問題	21
ドライブの問題	22
CD および DVD ドライブの問題	22
ハードドライブの問題	23
電子メール、モデム、およびインターネットの問題	23
エラーメッセージ	25

IEEE 1394 デバイスの問題	26
キーボードの問題	26
コンピュータのロックアップおよびソフトウェアの問題	27
コンピュータが起動しない場合	27
コンピュータの反応が停止した場合	27
プログラムが応答しなくなった場合	27
プログラムが繰り返しクラッシュする場合	27
プログラムが以前のバージョンの Windows オペレーテ ィングシステム用に設計されている場合	28
画面が青色（ブルースクリーン）になった場合	28
その他のソフトウェアの問題	28
メモリの問題	29
マウスの問題	29
ネットワークの問題	30
電源の問題	31
プリンタの問題	32
スキャナーの問題	33
サウンドとスピーカーの問題	34
スピーカーから音がしない場合	34
ヘッドフォンから音がしない場合	35
ビデオとモニターの問題	35
画面に何も表示されない場合	35
画面が見つからない場合	36

3 アドバンストラブルシューティング

診断ライト	37
Dell Diagnostics（診断）プログラム	40
Dell Diagnostics（診断）プログラムの Main Menu （メインメニュー）	41
ドライバ	42
ドライバとは？	42
ドライバの確認	43
ドライバの再インストール	43

オペレーティングシステムの復元	44
Microsoft Windows XP システムの復元の使い方	44
Dell PC Restore by Symantec の使い方	46
『オペレーティングシステム CD』の使い方	48
ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決	49

4 部品の取り外しと取り付け

作業を開始する前に	51
推奨する工具とツール	51
コンピュータの電源を切る	51
コンピュータ内部の作業を始める前に	52
コンピュータの正面および背面	53
正面	53
コンピュータの背面	54
コンピュータカバーの取り外し	57
コンピュータの内部	58
システム基板のコンポーネント	59
メモリ	60
DDR メモリの概要	60
メモリ取り付けガイドライン	61
メモリの取り付け	61
カード	63
PCI カード	64
前面パネル	67
前面パネルの取り外し	67
ドライブベイカバーの取り外し	68
前面パネルの取り付け	69
ドライブ	69
一般的な取り付けガイドライン	70
ドライブケーブルの接続	70
ハードドライブ	71
ハードドライブの取り外し	72
ハードドライブの取り付け	74

フロッピードライブ	76
フロッピードライブの取り外し	76
フロッピードライブの取り付け	77
CD/DVD ドライブ	79
CD/DVD ドライブの取り外し	79
CD/DVD ドライブの取り付け	80
セカンド CD または DVD ドライブの追加	81
バッテリー	84
コンピュータカバーの取り付け	86

5 付録

仕様	87
セットアップユーティリティ	90
概要	90
セットアップユーティリティの起動	91
セットアップユーティリティのオプション	92
起動順序	98
忘れたパスワードの取り消し	99
コンピュータのクリーニング	100
コンピュータ、キーボード、およびモニター	100
マウス	101
フロッピードライブ	101
CD および DVD	101
デルテクニカルサポートポリシー（米国内のみ）	102
「Dell 製品にインストールされている」ソフトウェアと周辺 機器の定義	102
「サードパーティ製」ソフトウェアと周辺機器の定義	102
FCC に関する注意事項（米国内のみ）	103
クラス A	103
クラス B	104
FCC ID 情報	104
デルへのお問い合わせ	105

索引	107
---------------------	------------

情報の入手方法

メモ：一部の機能やメディアはオプションであり、同梱されていないコンピュータもあります。一部の機能やメディアは、国によってはご利用になれない場合があります。

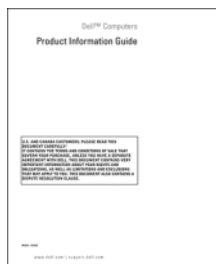
メモ：追加情報がコンピュータに同梱されている場合があります。

何をお探しですか？

- 保証に関する情報
- 契約条項（米国のみ）
- 安全にお使いいただくために
- 認可機関の情報
- 快適な使い方
- エンドユーザーライセンス契約

こちらをご覧ください

Dell™ 『製品情報ガイド』



- コンピュータのセットアップ方法

セットアップ説明図



何をお探しですか？

- サービスタグとエクスプレスサービスコード
- Microsoft Windows ライセンスラベル

こちらをご覧ください

サービスタグと Microsoft® Windows® ライセンスラベルはお使いのコンピュータに貼られています。

- サービスタグは、**support.jp.dell.com** を使用の際、またはテクニカルサポートへのお問い合わせの際に、コンピュータの識別に使用します。



- テクニカルサポートに連絡したときにエクスプレスサービスコードを入力すると、通話が直接接続されます。



-
- 技術情報 — Q & A 検索、トラブル解消ナビ、Diagnostics（診断）プログラム、インストールガイド、お問い合わせの多い質問
 - アップグレード — メモリ、ハードドライブ、またはオペレーティングシステムなどのコンポーネントに関するアップグレード情報
 - 各種サービスのご案内 — サービスプラン、登録内容変更申込、リサイクル・買取サービス、引き取り修理状況確認など
 - サービスおよびサポート — サービスコールの状況とサービス履歴、サービス契約
 - 参照資料 — マニュアル、コンピュータの設定に関する詳細情報、製品仕様、ホワイトペーパーなど
 - ダウンロード — 認定ドライバ、パッチ、ソフトウェアのアップデート

デルサポートサイト — support.jp.dell.com

メモ：お住まいの地域を選択し、お近くのサポートサイトを表示します。

メモ：企業、政府および教育関係のユーザーには、カスタマイズされた Dell Premier サポートウェブサイト premier.dell.co.jp/premier もご利用いただけます。

- Windows XP の使い方
- プログラムとファイルの使い方
- 自分だけのデスクトップの作り方

Windows ヘルプとサポートセンター

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
 - 2 問題に関連する用語やフレーズを検索ボックスに入力して、矢印アイコンをクリックします。
 - 3 問題に関連するトピックをクリックします。
 - 4 画面の指示に従います。
-

コンピュータのセットアップと使い方

プリンタのセットアップ

➡ **注意：**プリンタをコンピュータに接続する前に、オペレーティングシステムのセットアップを完了してください。


以下の操作を含むセットアップ情報については、プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

- 最新ドライバの入手およびインストール
- プリンタのコンピュータへの接続
- 用紙のロードおよびトナーやインクカートリッジのインストール
- プリンタ製造元のテクニカルサポートへの問い合わせ

プリンタケーブル

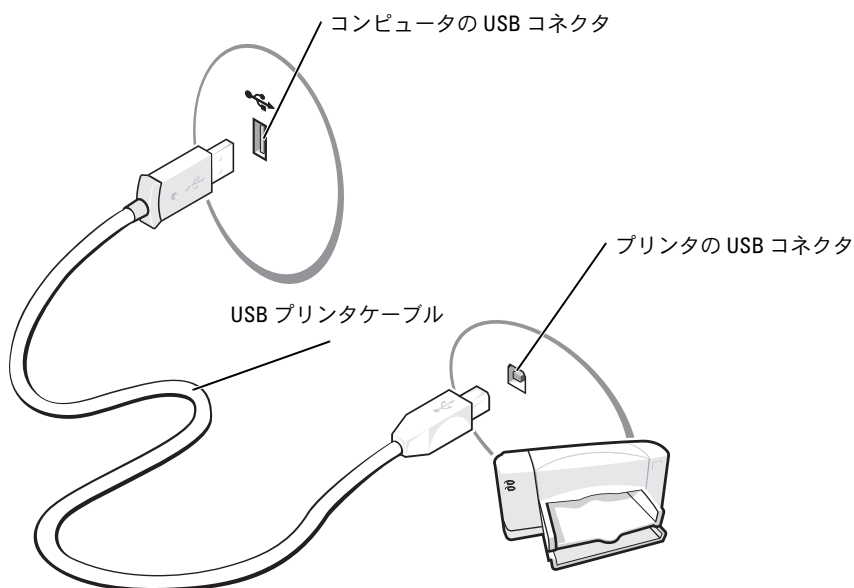
プリンタは、USB ケーブルまたはパラレルケーブルのどちらかを使用してコンピュータに接続します。プリンタにプリンタケーブルが付いていない場合があります。ケーブルを別に購入する場合は、プリンタに対応するものであることを確認してください。プリンタケーブルをコンピュータと一緒に購入した場合、ケーブルはコンピュータの箱に入っていることがあります。

USB プリンタの接続

 **メモ：**USB デバイスは、コンピュータに電源が入っているときでも接続できます。

- 1 オペレーティングシステムをまだセットアップしていない場合は、セットアップを完了します。
- 2 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

- 3 USB プリンタケーブルをコンピュータとプリンタの USB コネクタに取り付けます。
USB コネクタは一方方向にしかはめ込むことができません。

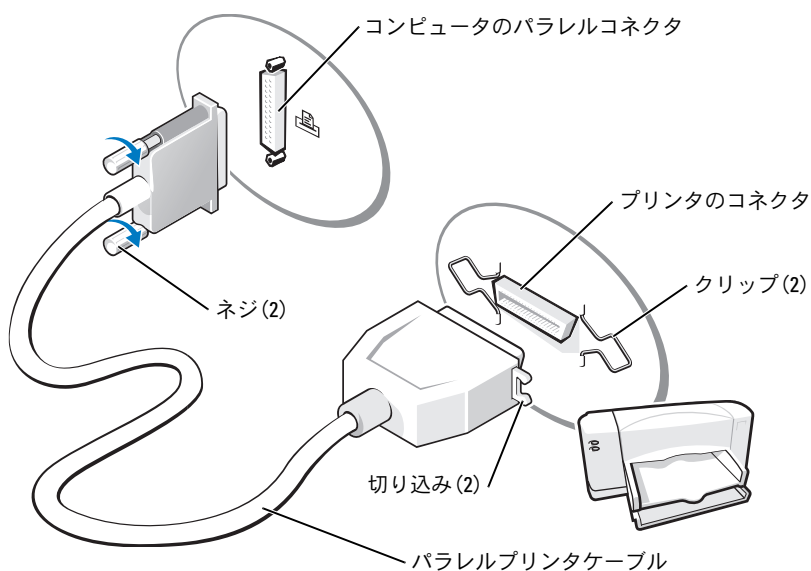


パラレルプリンタの接続

- 1 オペレーティングシステムのセットアップを完了していない場合は、セットアップを完了します。
- 2 コンピュータの電源を切ります (51 ページ を参照)。

➡ 注意：長さ 3 m 以下のパラレルケーブルが最適です。

- 3 コンピュータの平行コネクタに平行プリンタケーブルを取り付け、2つのネジをしっかりと締めます。ケーブルをプリンタのコネクタに接続してクリップを切り込みにはめます。



- 4 プリンタの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。**新しいハードウェアの追加ウィザード** ウィンドウが表示されたら、**キャンセル** をクリックします。
- 5 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

家庭用および企業用ネットワークのセットアップ

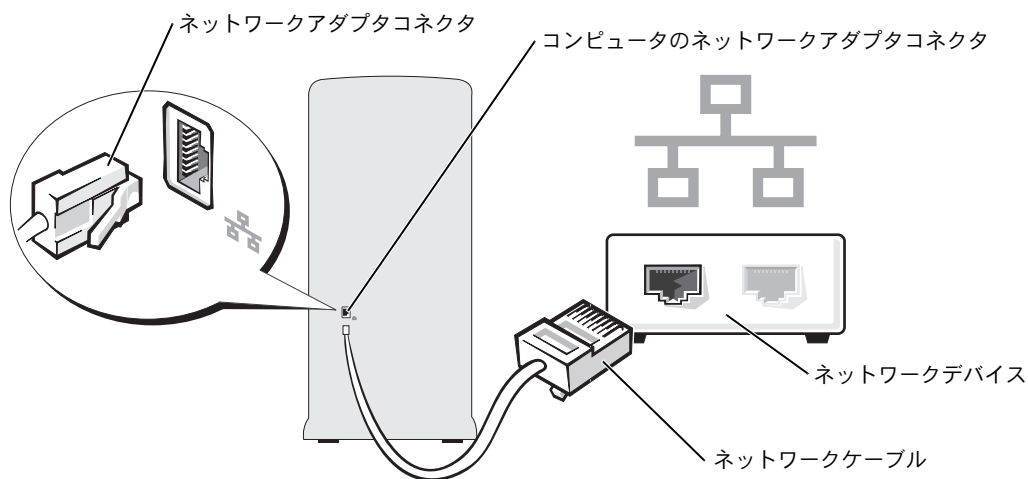
ネットワークアダプタへの接続

メモ： ネットワークケーブルをコンピュータのネットワークアダプタコネクタに接続します。コンピュータのモデムコネクタにネットワークケーブルを接続しないでください。電話ジャックにネットワークケーブルを接続しないでください。

- 1 ネットワークケーブルをコンピュータの背面にあるネットワークアダプタコネクタに接続します。


ケーブルをカチッと所定の位置に収まるまで差し込みます。次に、ケーブルを軽く引っ張り、ケーブルの接続を確認します。

- 2 ネットワークケーブルのもう一方の端をネットワークデバイスに接続します。




ネットワークセットアップウィザード

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムには、家庭または小企業のコンピュータ間で、ファイル、プリンタ、またはインターネット接続を共有するための手順を案内するネットワークセットアップウィザードがあります。

- 1 スタート ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **通信** の順にポイントしてから、**ネットワークセットアップウィザード** をクリックします。
 - 2 ネットワークセットアップウィザードの開始画面で、**次へ** をクリックします。
 - 3 **ネットワーク作成のチェックリスト** をクリックします。
-  **メモ**：インターネットに直接接続しているという接続方法を選択すると、Windows XP Service Pack 1 (SP1) の内蔵ファイアウォールを使用することができます。
- 4 チェックリストのすべての項目に入力し、必要な準備を完了します。
 - 5 ネットワークセットアップウィザードに戻り、画面の指示に従います。

インターネットへの接続

 **メモ**：ISP や ISP のサービスは、国によって異なります。

インターネットに接続するには、モデムまたはネットワーク接続、および AOL や MSN などのインターネットサービスプロバイダ（ISP）との契約が必要になります。ISP は、以下のインターネット接続オプションを提供します。

- 電話回線を介してインターネットにアクセスするダイヤルアップ接続。ダイヤルアップ接続は、DSL やケーブルモデム接続に比べてかなり遅くなります。
- 既存の電話回線を介してインターネットに高速アクセスする DSL 接続。DSL 接続では、同じ回線でインターネットへのアクセスと電話の使用を同時に行うことができます。
- 地元のケーブル TV 回線を介してインターネットにアクセスするケーブルモデム接続。

ダイヤルアップ接続を使用している場合は、インターネット接続をセットアップする前に、電話線をコンピュータのモデムコネクタと電話ジャックに接続します。DSL またはケーブルモデム接続を使用している場合は、ISP にセットアップ手順をお問い合わせください。

インターネット接続のセットアップ

AOL または MSN 接続をセットアップするには、次の手順を実行します。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 Microsoft® Windows® デスクトップ上の **MSN Explorer** または **AOL** アイコンをダブルクリックします。
- 3 画面の指示に従ってセットアップを完了します。

デスクトップ上に **MSN Explorer** または **AOL** アイコンがない場合、または別の ISP でインターネット接続をセットアップする場合は、次の手順を実行します。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 **スタート** ボタンをクリックして、**Internet Explorer** をクリックします。
新しい接続ウィザード が表示されます。
- 3 **インターネットに接続する** をクリックします。
- 4 次のウィンドウで、該当するオプションをクリックします。
 - ISP と契約していない場合に新たに選択するには、**インターネットサービスプロバイダ (ISP) の一覧から選択する** をクリックします。
 - ISP からセットアップ情報を入手していて、セットアップ CD を受け取っていない場合は、**接続を手動でセットアップする** をクリックします。
 - CD を持っている場合は、**ISP から提供された CD を使用する** をクリックします。

- 5 **次へ** をクリックします。

接続を手動でセットアップする を選択した場合は、手順 6 に進みます。それ以外の場合は、画面の指示に従ってセットアップを完了します。



メモ： 選択する接続の種類が不明な場合は、ISP にお問い合わせください。

- 6 **インターネットにどう接続しますか？** で該当するオプションをクリックし、**次へ** をクリックします。

- 7 ISP から提供されるセットアップ情報を使用して、セットアップを完了します。

インターネットへの接続に問題が発生した場合は、「電子メール、モデム、およびインターネットの問題」(23 ページ) を参照してください。以前にインターネットに正常に接続したことがあるにもかかわらず接続できない場合は、ISP がサービスを停止している可能性があります。ISP に問い合わせるサービスの状況を確認するか、後で再接続してください。

CD および DVD の再生



注意： CD や DVD のトレイを開けたり閉めたりする際にトレイを押し下げないでください。ドライブを使用していない場合は、トレイを閉めたままにしてください。



注意： CD や DVD を再生している場合は、コンピュータを移動しないでください。

- 1 ドライブの前面にある取り出しボタンを押します。
- 2 ラベル面を上にしてディスクをトレイの中央に置きます。











- 3 取り出しボタンを押すか、トレイを軽く押し込みます。

データを保存するために CD をフォーマットしたり、音楽 CD を作成したり、CD をコピーしたりするには、コンピュータに付属の CD ソフトウェアを参照してください。














メモ： CD をコピーする際は、著作権法に基づいていることを確認してください。

CD プレーヤーには以下の基本的なボタンがあります。


	再生
	現在のトラック内で巻き戻し
	一時停止
	現在のトラック内で早送り
	停止
	前のトラックへ移動
	取り出し
	次のトラックへ移動

DVD プレーヤーには以下の基本的なボタンがあります。

	停止
	現在のチャプターを再スタート
	再生
	早送り
	一時停止
	早戻し
	一時停止モードで1フレーム進める
	次のタイトルまたはチャプターへ移動
	現在のタイトルまたはチャプターを連続再生
	前のタイトルまたはチャプターへ移動
	取り出し

CD や DVD の再生の詳細については、CD や DVD プレーヤーの **ヘルプ** をクリックします (ヘルプがある場合)。

音量の調節

 **メモ**：スピーカーの音を消している場合は、CD や DVD を再生しても何も聞こえません。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム→アクセサリ→エンターテインメント** の順にポイントしてから、**ボリュームコントロール** をクリックします。
- 2 **ボリュームコントロール** ウィンドウで、**ボリュームコントロール** 列のバーをクリックしてドラッグし、上下に移動して音量を調節します。


ボリュームコントロールのオプションの詳細については、**ボリュームコントロール** ウィンドウの **ヘルプ** をクリックしてください。

画面の調整

エラーメッセージが表示され、現在の解像度や色の深度により多くのメモリが使用され DVD の再生を阻止していると通知された場合には、次のようにして画面のプロパティを調節します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** で、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 3 **作業を選びます** で、**画面解像度を変更する** をクリックします。
- 4 **画面のプロパティ** ウィンドウで、**画面の解像度** のバーをクリックしてドラッグし、設定を **800 x 600 ピクセル** に変更します。
- 5 **画面の色** のドロップダウンメニューをクリックし、**中 (16 ビット)** をクリックします。
- 6 **OK** をクリックします。

CD および DVD のコピー


 **メモ**：CD または DVD をコピーする際は、著作権法に基づいていることを確認してください。

本項は CD-RW、DVD+/-RW、または CD-RW/DVD (コンボ) ドライブを持つコンピュータにのみ適用されます。


 **メモ**：デルが提供する CD ドライブまたは DVD ドライブの種類は、国によって異なる場合があります。

以下の手順では、Roxio Creator Plus - Dell Edition を使用して CD または DVD を完全にコピーする方法について説明します。コンピュータに保存されたオーディオファイルから音楽 CD を作成したり、重要なデータをバックアップするなど、別の目的で Roxio Creator Plus を使用することもできます。ヘルプに関しては、Roxio Creator を開き、ウィンドウの右上にある疑問符 (?) アイコンをクリックしてください。

CD または DVD のコピー方法

 **メモ**：CD-RW/DVD コンボドライブでは DVD メディアへの書き込みができません。CD-RW/DVD コンボドライブを使用していて、書き込みの際に問題が発生した場合は、www.sonicjapan.co.jp/support の Sonic サポートウェブサイト で利用可能なソフトウェアパッチを確認してください。

Dell コンピュータの DVD 書き込み可能ドライブでは、DVD+/-R、DVD+/-RW および DVD+R DL（二層）メディアへの書き込みと読み取りが可能です。DVD-RAM または DVD-R DL メディアへの書き込みはできず、読み取りもできない場合があります。

 **メモ**：市販の DVD のほとんどは著作権が保護されているので、Roxio Creator Plus を使用してコピーすることはできません。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**すべてのプログラム** → **Roxio** → **Creator Projects** の順にポイントしてから、**RecordNow Copy** をクリックします。
- 2 **コピー** タブで、**ディスクコピー** をクリックします。
- 3 CD または DVD をコピーするには、次の手順を実行します。
 - CD/DVD ドライブが 1 台の場合は、設定が正しいことを確認して、**ディスクコピー** をクリックします。コンピュータがソース CD または DVD を読み取り、コンピュータのハードドライブのテンポラリフォルダにそのデータをコピーします。
プロンプトが表示されたら、ドライブに空の CD または DVD を挿入して、**OK** をクリックします。
 - CD/DVD ドライブが 2 台ある場合は、ソース CD または DVD を入れたドライブを選択して、**ディスクコピー** をクリックします。ソース CD または DVD のデータが空の CD または DVD にコピーされます。

ソース CD または DVD のコピーが終了すると、作成された CD または DVD は自動的に出てきます。

空の CD および DVD の使い方

CD-RW ドライブは CD 記録メディア（高速 CD-RW メディアを含む）にしか書き込みを行うことができませんが、DVD 書き込み可能ドライブは CD と DVD の両方の記録メディアに書き込みを行うことができます。

音楽を録音したり、データファイルを永久保存する場合は、空の CD-R を使用します。CD-R の最大ストレージ容量に達すると、その CD-R には再度書き込むことができません（詳細については、Sonic のマニュアルを参照してください）。CD の情報を後で消去、上書き、または更新するには、空の CD-RW を使用してください。

空の DVD+/-R は、大量の情報を永久保存することができます。ディスク作成プロセスの最終段階でディスクをファイナライズまたはクローズした場合は、作成した DVD+/-R ディスクに再度書き込むことができません。後でディスクにある情報を消去、再書き込み、または、更新する場合は、空の DVD+/-RW を使用してください。

CD 書き込み可能ドライブ

メディアの種類	読み取り	書き込み	書き換え可能
CD-R	可	可	不可
CD-RW	可	可	可

DVD 書き込み可能ドライブ

メディアの種類	読み取り	書き込み	書き換え可能
CD-R	可	可	不可
CD-RW	可	可	可
DVD+R	可	可	不可
DVD-R	可	可	不可
DVD+RW	可	可	可
DVD-RW	可	可	可
DVD+R DL	可	可	不可
DVD-R DL	場合による	不可	不可
DVD-RAM	場合による	不可	不可

便利なヒント

- Microsoft® Windows® エクスプローラでファイルを CD-R または CD-RW にドラッグ & ドロップする場合は、まず Roxio Creator を開始して Creator プロジェクトを開いてください。
- コピーしたミュージック CD を一般的なステレオで再生させるには、CD-R を使用してください。CD-RW は、ほとんどの家庭用ステレオおよびカーステレオで再生できません。
- Roxio Creator Plus を使用して、オーディオ DVD を作成することはできません。
- 音楽用 MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーでのみ、または MP3 ソフトウェアがインストールされたコンピュータでのみ再生できます。
- ホームシアターシステムで使用される市販の DVD プレーヤーは、使用可能な DVD フォーマットをすべてサポートしているとは限りません。お使いの DVD プレーヤーがサポートしているフォーマットに関しては、DVD プレーヤーに付属のマニュアルを参照するか、または製造元にお問い合わせください。
- 空の CD-R または CD-RW を最大容量までコピーしないでください。たとえば、650 MB のファイルを容量が 650 MB の空の CD にコピーしないでください。CD-RW ドライブは、記録の最終段階で 1～2 MB のブランクスペースを必要とします。

- CD への記録について操作に慣れるまで練習するには、空の CD-RW を使用してください。CD-RW なら、失敗しても CD-RW のデータを消去してやりなおすことができます。また、空の CD-R に音楽ファイルプロジェクトを永久記録する前にプロジェクトをテストする場合にも、空の CD-RW を使用してください。
- 詳細に関しては、Sonic ウェブサイト sonicjapan.co.jp を参照してください。

ハイパースレッディング

ハイパースレッディングは、Intel® のテクノロジーで、1 つの物理プロセッサを 2 つの論理プロセッサとして機能させることで全体的なパフォーマンスの向上を図り、複数のタスクを同時に処理することを可能にします。Windows XP オペレーティングシステムは、ハイパースレッディングテクノロジーを利用するために最適化されているので、Microsoft® Windows® XP Service Pack 1 (SP1) 以降のオペレーティングシステムを使用することをお勧めします。多くのプログラムは、ハイパースレッディングの恩恵を受けることとなりますが、ハイパースレッディング用に最適化されていないプログラムもあります。それらのプログラムは、ソフトウェアの製造元によるアップデートが必要な場合があります。ソフトウェアの製造元に、アップデートやハイパースレッディングでソフトウェアを使用する方法についてお問い合わせください。

お使いのコンピュータがハイパースレッディングテクノロジーを使用しているかどうかを確認するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**マイコンピュータ** を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
- 2 **ハードウェア** をクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
- 3 **デバイスマネージャ** ウィンドウで、**プロセッサ** の横の (+) サインをクリックします。ハイパースレッディングが有効な場合、プロセッサは 2 つ表示されています。

セットアップユーティリティを使って、ハイパースレッディングを有効または無効にすることができます。セットアップユーティリティの使用の詳細については、91 ページを参照してください。ハイパースレッディングの詳細については、デルサポートサイト support.jp.dell.com で、技術情報を検索してください。


問題の解決


トラブルシューティングのヒント

次のヒントに従ってコンピュータのトラブルシューティングを行ってください。

- 問題が発生し始める前に部品の取り付け / 取り外しを行った場合は、その手順を再度確認して、取り付け / 取り外しが正しく行われたか確認します。
- 周辺機器が機能しない場合は、その機器が適切に接続されているか確認します。
- エラーメッセージが画面に表示される場合は、そのメッセージを正確に書き留めておきます。このメッセージは、テクニカルサポート担当者が問題を分析および解決するのに役立つ場合があります。
- エラーメッセージがプログラム上で発生する場合は、プログラムのマニュアルを参照してください。


バッテリーの問題

 **警告：**バッテリーは、正しく装着しないと破裂するおそれがあります。バッテリーは、必ず同一または同等の、製造元が推奨するタイプのもので交換してください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。

バッテリーを交換します。 コンピュータの電源を入れた後、時刻と日付の情報を繰り返しリセットする必要がある場合、または起動時に間違った時刻や日付が表示される場合は、バッテリーを交換します（84 ページ を参照）。それでもバッテリーが正常に機能しない場合は、デルにお問い合わせください（105 ページ を参照）。

ドライブの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。

MICROSOFT® WINDOWS® がドライブを認識していることを確認します。 スタート ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。お使いのフロッピードライブ、CD ドライブ、または DVD ドライブが一覧に表示されない場合は、アンチウイルスソフトウェアでウイルスチェックを行い、ウイルスの検出と除去を行います。ウイルスが原因で Windows がドライブを認識できないことがあります。

ドライブのテストを行います。

- 別のフロッピーディスク、CD、または DVD を挿入して、元のディスクに問題がないことを確認します。
- 起動ディスクを挿入して、コンピュータを再起動します。


ドライブまたはディスクをクリーニングします。 「コンピュータのクリーニング」(100 ページ) を参照してください。


ケーブルの接続を確認します。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します。 49 ページ を参照してください。

DELL DIAGNOSTICS (診断) プログラム を実行します。 40 ページ を参照してください。

CD および DVD ドライブの問題

 **メモ：**高速 CD または DVD ドライブの振動は正常です。この振動によってノイズが生じることがありますが、ドライブの欠陥や CD または DVD の欠陥を示すものではありません。

 **メモ：**国や地域によってディスクフォーマットが異なるため、すべての DVD がお使いの DVD ドライブで再生できるわけではありません。

WINDOWS の音量を調整します。

- 画面右下にあるスピーカーのアイコンをクリックします。
- スライドバーをクリックし、上にドラッグして、音量が上がることを確認します。
- サウンドがミュートに設定されていないか確認し、設定されている場合はチェックマークの付いたボックスをクリックします。

スピーカーおよびサブウーハーを確認します。 「サウンドとスピーカーの問題」(34 ページ) を参照してください。

CD/DVD-RW ドライブに書き込みができない場合

他のプログラムを閉じます。CD/DVD-RW ドライブは、データを書き込むときに一定したデータの流れを必要とします。データの流れが中断されるとエラーが発生します。CD/DVD-RW への書き込みを開始する前に、すべてのプログラムを終了してみます。


CD/DVD-RW への書き込みを開始する前に、Windows のスタンバイモードを無効にします。省電力モードについては、Windows のヘルプで「スタンバイ」というキーワードで検索して該当するトピックを参照してください（8 ページを参照）。


ハードドライブの問題

チェックディスクユーティリティを実行します。

- 1 スタート ボタンをクリックして、マイコンピュータ をクリックします。
- 2 ローカルディスク (C:) を右クリックします。
- 3 プロパティ をクリックします。
- 4 ツール タブをクリックします。
- 5 エラーチェック の項目で、チェックする をクリックします。
- 6 不良なセクタをスキャンし、回復する をクリックします。
- 7 開始 をクリックします。

電子メール、モデム、およびインターネットの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

 **メモ：**モデムはアナログ電話ジャックにのみ接続してください。デジタル電話回線 (ISDN) に接続した場合、モデムは動作しません。

MICROSOFT OUTLOOK® EXPRESS のセキュリティ設定を確認します。電子メールの添付ファイルを開くことができない場合は、次の操作を行ってください。

- 1 Outlook Express で、ツール をクリックし、オプション をクリックします。次に、セキュリティ をクリックします。
- 2 添付ファイルを許可しない をクリックしてチェックマークを外します。

電話回線ケーブルの接続を確認します。

電話プラグを確認します。

モデムを壁の電話ジャックに直接接続します。

別の電話回線ケーブルを使用します。

- 電話回線ケーブルがモデムのジャックに接続されているか確認します（ジャックには緑色のラベルが付いているか、その隣にコネクタ形のアイコンが付いています）。
- モデムに電話回線ケーブルコネクタを挿入したときにカチッという音がすることを確認します。
- モデムから電話回線ケーブルを外し、それを電話に接続します。電話の発信音を聞きます。
- 留守番電話、ファックス、サージプロテクタ、スプリッタなどの、電話回線を共有する他の電話機器がある場合は、それらの機器を経由せずに、モデムを壁の電話ジャックに直接接続します。3 m 以上の電話回線ケーブルを使用している場合は、より短いものを使用してみてください。

MODEM HELPER 診断プログラムを実行します。 スタート ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** をポイントして、**Modem Helper** をクリックします。画面の指示に従って、モデムの問題を特定して解決します（Modem Helper は一部のコンピュータでは使用できません）。


モデムが WINDOWS と通信しているか確認します。

- 1 スタート ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
 - 2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
 - 3 **電話とモデムのオプション** をクリックします。
 - 4 **モデム** タブをクリックします。
 - 5 モデムの COM ポートをクリックします。
 - 6 **プロパティ** をクリックし、**診断** タブをクリックし、**モデムの照会** をクリックして、モデムが Windows と通信しているか確認します。
- すべてコマンドに対して応答があった場合、モデムは正常に動作しています。

インターネットに接続しているか確認します。インターネットサービスプロバイダと契約していることを確認します。Outlook Express 電子メールプログラムを開き、**ファイル** をクリックします。**オフライン作業** の隣にチェックマークが付いている場合は、そのチェックマークをクリックして外してから、インターネットに接続します。詳細については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

コンピュータをスキャンしてスパイウェアに感染していないか確認します。コンピュータの動作が遅くなったり、ポップアップ広告を頻繁に受信したり、インターネットへの接続に問題が発生する場合には、コンピュータがスパイウェアに感染している可能性があります。アンチスパイウェア機能を持つアンチウイルスプログラム（アップグレードが必要な場合もあります）を使用してコンピュータをスキャンし、スパイウェアを除去してください。詳細については、support.jp.dell.com で「スパイウェア」というキーワードを使って検索してください。

エラーメッセージ

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。

メッセージが一覧にない場合、オペレーティングシステム、またはメッセージが表示された際に実行していたプログラムのマニュアルを参照してください。

ファイル名には次の文字は使用できません \/:*?"<>|。 これらの記号をファイル名に使用しないでください。

必要な .DLL ファイルが見つかりません。 実行しようとしているプログラムに必要なファイルがありません。次の操作を行い、プログラムを削除して再インストールします。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。次に、**プログラムの追加と削除** をクリックします。
- 2 削除するプログラムを選択します。
- 3 **プログラムの変更と削除** アイコンをクリックします。
- 4 インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。

<ドライブ文字>:\にアクセスできません。デバイスの準備ができていません。 ドライブがディスクを読めません。ディスクをドライブに挿入して、再度試してみます。


起動可能なメディアを挿入。 起動ディスクまたは起動 CD を挿入します。

非システムディスクエラー。 フロッピーディスクをドライブから取り出し、コンピュータを再起動します。

メモリまたはリソースが不足しています。開いているプログラムを閉じ、再試行してください。 すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。場合によっては、コンピュータを再起動してコンピュータリソースを復元する必要があります。その場合、最初に使用したいプログラムを実行します。

オペレーティングシステムが見つかりません。 デルにお問い合わせください
(105 ページ を参照)。

IEEE 1394 デバイスの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

デバイスおよびコンピュータのコネクタに IEEE 1394 デバイスのケーブルが適切に挿入されていることを確認します。


IEEE 1394 デバイスが Windows によって認識されているか確認します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
お使いの IEEE 1394 デバイスが一覧に表示されている場合は、Windows がそのデバイスを認識します。

DELL IEEE 1394 デバイスに問題が発生している場合。 デルにお問い合わせください (105 ページ を参照)。

デル製ではない IEEE 1394 デバイスに問題が発生している場合。 IEEE 1394 デバイスの製造元にお問い合わせください。

キーボードの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。


キーボードケーブルを確認します。

- キーボードケーブルがコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。
- コンピュータをシャットダウンし (51 ページ を参照)、コンピュータに付属のセットアップ図に示されているようにキーボードケーブルを接続しなおしてから、コンピュータを再起動します。
- ケーブルコネクタが曲がっていないか、ピンが壊れていないか、またはケーブルが損傷を受けていないか、擦り切れていないか確認します。曲がったピンをまっすぐにします。
- キーボード延長ケーブルを取り外し、キーボードを直接コンピュータに接続します。

キーボードを確認します。 正常に機能している別のキーボードをコンピュータに接続して、使用してみます。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します。 49 ページ を参照してください。

コンピュータのロックアップおよびソフトウェアの問題


 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。

コンピュータが起動しない場合

診断ライトを確認します。37 ページ を参照してください。

電源ケーブルがコンピュータとコンセントにしっかりと接続されているか確認します。

コンピュータの反応が停止した場合

 **注意：**オペレーティングシステムのシャットダウンが実行できない場合、データを損失するおそれがあります。


コンピュータの電源を切ります。 キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8～10 秒以上押し続けます。その後、コンピュータを再起動します。

プログラムが応答しなくなった場合

プログラムを終了します。

- 1 <Ctrl><Shift><Esc> を同時に押します。
- 2 **アプリケーション** をクリックします。
- 3 応答しなくなったプログラムをクリックします。
- 4 **タスクの終了** をクリックします。

プログラムが繰り返しクラッシュする場合

 **メモ：**通常、ソフトウェアのインストール手順は、そのマニュアルまたはフロッピーディスクか CD に収録されています。

ソフトウェアのマニュアルを確認します。必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

プログラムが以前のバージョンの Windows オペレーティングシステム用に設計されている場合

プログラム互換性ウィザードを実行します。

プログラム互換性ウィザードは、Windows XP 以外のオペレーティングシステムの環境に似た環境で動作するようにプログラムを設定します。

- 1 スタート ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ** の順にポイントしてから、**プログラム互換性ウィザード** をクリックします。
- 2 プログラム互換性ウィザードの開始画面で、**次へ** をクリックします。
- 3 画面の指示に従います。

画面が青色（ブルースクリーン）になった場合

コンピュータの電源を切ります。キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押し続けます。その後、コンピュータを再起動します。

その他のソフトウェアの問題

トラブルシューティングについては、ソフトウェアのマニュアルを確認するか、ソフトウェアの製造元に問い合わせます。


- プログラムがお使いのコンピュータにインストールされているオペレーティングシステムに対応していることを確認します。
- お使いのコンピュータがソフトウェアの実行に必要な最小ハードウェア要件を満たしていることを確認します。詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- プログラムが正しくインストールおよび設定されていることを確認します。
- デバイスドライバがプログラムとコンフリクトしていないことを確認します。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

ファイルを直ちにバックアップします。

アンチウイルスプログラムを使って、ハードドライブ、フロッピーディスク、または CD を調べます。

開いているファイルまたはプログラムをすべて保存してから閉じ、スタートメニューからコンピュータをシャットダウンします。

メモリの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。


メモリ不足を示すメッセージが表示される場合。

- 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、使用していない実行中のプログラムをすべて終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、増設メモリを取り付けます（60 ページ を参照）。
- メモリモジュールを抜き差しして、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します（60 ページ を参照）。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（40 ページ を参照）。

その他のメモリの問題が発生する場合。

- メモリモジュールを抜き差しして（60 ページを参照）、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- メモリの取り付けガイドラインに従っているか確認します（60 ページ を参照）。
- お使いの Dell Dimension™ コンピュータは DDR メモリに対応しています。お使いのコンピュータに対応するメモリの詳細については、「メモリ」（87 ページ）を参照してください。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（40 ページ を参照）。

マウスの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。

マウスをクリーニングします。 マウスをクリーニングする方法については、「コンピュータのクリーニング」（100 ページ）を参照してください。

マウスケーブルを確認します。

- 1 ケーブルコネクタが曲がっていないか、ピンが壊れていないか、またはケーブルが損傷を受けていないか、擦り切れていないか確認します。曲がったピンをまっすぐにします。
- 2 マウス延長ケーブルを使用している場合は取り外し、マウスを直接コンピュータに接続します。
- 3 コンピュータをシャットダウンし（51 ページ を参照）、コンピュータに付属のセットアップ図に示されているようにマウスケーブルを接続しなおしてから、コンピュータを再起動します。

コンピュータを再起動します。

- 1 <Ctrl><Esc> を同時に押して、**スタート** メニューを表示します。
- 2 u と入力してからキーボードの矢印キーを押し、**シャットダウン** または **電源を切る** をハイライト表示して、<Enter> を押します。
- 3 コンピュータの電源を切った後、コンピュータに付属のセットアップ図に示されているように、マウスケーブルを接続しなおします。
- 4 コンピュータを起動します。

マウスを確認します。 正常に機能している別のマウスをコンピュータに接続して、使用してみます。


マウスの設定を確認します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 2 **マウス** をクリックします。
- 3 設定を調整してみます。

マウスドライバを再インストールします。 43 ページ を参照してください。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します。 49 ページ を参照してください。

ネットワークの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。

ネットワークケーブルコネクタを確認します。 ネットワークケーブルが、コンピュータ背面のネットワークコネクタとネットワークジャックの両方にしっかりと挿入されているか確認します。


コンピュータ背面のネットワークインジケータを確認します。 リンク保全ライトが消灯している場合は、ネットワーク通信が行われていません。この場合は、ネットワークケーブルを交換します。ネットワークインジケータの説明については、「ボタンとライト」（89 ページ）を参照してください。

コンピュータを再起動して、ネットワークに再度ログオンします。

ネットワークの設定を確認します。ネットワーク管理者またはネットワーク構築者に連絡して、ネットワークの設定が正しいか、またはネットワークが正常に機能しているか確認します。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します。49 ページ を参照してください。

電源の問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。

電源ライトが緑色に点灯していて、コンピュータが応答しない場合。 「診断ライト」(37 ページ) を参照してください。

電源ライトが緑色に点滅している場合。 コンピュータはスタンバイモードに入っています。キーボードのキーを押すか、マウスを動かすか、電源ボタンを押して、通常の動作状態に戻します。

電源ライトが消灯している場合。 コンピュータの電源が切れているか、電力が供給されていません。

- 電源ケーブルをコンピュータ背面の電源コネクタとコンセントの両方にしっかりと装着しなします。
- コンピュータが電源タップに接続されている場合、電源タップがコンセントに接続され電源タップがオンになっていることを確認します。また、電源保護装置、電源タップ、電源延長ケーブルなどを使用している場合は、それらを取り外してコンピュータの電源が適切に入るか確認します。
- 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないことを確認します。
- 主電源ケーブルおよび前面パネルケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します (59 ページ を参照)。

電源ライトが黄色に点滅している場合。 コンピュータに電源は供給されていますが、コンピュータ内部で電源の問題が発生している可能性があります。

- コンピュータを使用している地域の AC 電源の電圧と一致するように、電圧選択スイッチ (54 ページ を参照) を設定しているか確認します (該当する場合のみ)。
- プロセッサ電源ケーブル (59 ページ を参照) がシステム基板にしっかりと接続されているか確認します。


電源ライトが黄色に点灯している場合。 デバイスが誤動作しているか、正しく取り付けられていない可能性があります。


- メモリモジュールを取り外してから装着しなおします（60 ページ を参照）。
- すべてのカードを取り外してから装着しなおします（63 ページ を参照）。
- グラフィックカードを取り付けている場合は取り外してから装着しなおします（63 ページ を参照）。

電波障害を除去します。 電波障害の原因には、以下のものが考えられます。

- 電源、キーボード、およびマウス延長ケーブルが使用されている
- 電源タップに接続されているデバイスが多すぎる
- 同じコンセントに複数の電源タップが接続されている

プリンタの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。

 **メモ：**プリンタのテクニカルサポートが必要な場合は、プリンタの製造元にお問い合わせください。

プリンタのマニュアルを確認します。 セットアップとトラブルシューティングについては、プリンタのマニュアルを参照してください。

プリンタの電源がオンになっていることを確認します。

プリンタケーブルの接続を確認します。

- ケーブルの接続については、プリンタのマニュアルを参照してください。
- プリンタケーブルがプリンタとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します（9 ページ を参照）。


コンセントを確認します。 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないことを確認します。


プリンタが Windows によって認識されていることを確認します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 2 **インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する** をクリックします。
プリンタが一覧に表示されている場合、プリンタアイコンを右クリックします。
- 3 **プロパティ** をクリックし、**ポート** タブをクリックします。パラレルプリンタの場合は、**印刷先のポート** が **LPT1 (プリンタポート)** に設定されていることを確認します。USB プリンタの場合は、**印刷先のポート** が **USB** に設定されていることを確認します。

プリンタドライバを再インストールします。手順については、プリンタのマニュアルを参照してください。

スキャナーの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

 **メモ：**スキャナーのテクニカルサポートが必要な場合は、スキャナーの製造元にお問い合わせください。

スキャナーのマニュアルを確認します。セットアップとトラブルシューティングについては、スキャナーのマニュアルを参照してください。

スキャナのロックを解除します。スキャナーにロックタブまたはボタンがある場合は、スキャナーがアンロックされているか確認します。

コンピュータを再起動し、スキャナーを再度試してみます。

ケーブルの接続を確認します。

- ケーブルの接続については、スキャナーのマニュアルを参照してください。
- スキャナーケーブルがスキャナーとコンピュータにしっかりと接続されていることを確認します。

スキャナーが MICROSOFT WINDOWS によって認識されていることを確認します。


1 スタート ボタンをクリックし、コントロールパネル をクリックして、プリンタとその他のハードウェア をクリックします。

2 スキャナとカメラ をクリックします。


お使いのスキャナーが一覧に表示されている場合、Windows がそのスキャナーを認識しています。


スキャナードライバを再インストールします。手順については、スキャナーのマニュアルを参照してください。

サウンドとスピーカーの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。

スピーカーから音がしない場合

 **メモ：**MP3 プレーヤーの音量調節は、Windows の音量調節より優先されることがあります。MP3 の音楽を聴いていた場合、プレーヤーの音量が十分か確認してください。

 **メモ：**PCI オーディオカードを取り付けている場合、内蔵スピーカーは無効になります。

スピーカーケーブルの接続を確認します。 スピーカーに付属のセットアップ図に示されているように、スピーカーが接続されていることを確認します。サウンドカードをご購入された場合、スピーカーがカードに接続されていることを確認します。

サブウーハーおよびスピーカーの電源が入っているか確認します。 スピーカーに付属のセットアップ図を参照してください。スピーカーにボリュームコントロールが付いている場合は、音量、低音、または高音を調整して音のひずみを解消します。

WINDOWS の音量を調整します。 画面右下にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあり、サウンドがミュートに設定されていないことを確認します。

ヘッドフォンをヘッドホンコネクタから取り外します。 コンピュータの前面パネルにあるヘッドホンコネクタにヘッドホンを接続すると、自動的にスピーカーからの音声は聞こえなくなります。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないことを確認します。

電氣的な干渉を除去します。コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切り、干渉を調べます。

スピーカーの診断プログラムを実行します。

サウンドドライバを再インストールします。43 ページ を参照してください。


ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します。49 ページ を参照してください。


ヘッドフォンから音がしない場合

ヘッドフォンケーブルの接続を確認します。ヘッドフォンケーブルがヘッドフォンコネクタにしっかりと接続されていることを確認します (53 ページ を参照)。

Windows の音量を調整します。画面右下にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあり、サウンドがミュートに設定されていないことを確認します。

ビデオとモニターの問題

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。

 **メモ：**トラブルシューティングについては、モニターのマニュアルを参照してください。

画面に何も表示されない場合

モニターのケーブル接続を確認します。

- グラフィックケーブルが、コンピュータに付属のセットアップ図に示されているように接続されていることを確認します。
- グラフィック延長ケーブルを使用していて、その延長ケーブルを取り外すことによって問題が解決する場合は、ケーブルの不良です。
- コンピュータおよびモニターの電源ケーブルを交換して、電源ケーブルに問題がないか確認します。
- コネクタが曲がっていないか、ピンが壊れていないか確認します (モニターのケーブルコネクタは、通常いくつかのピンが欠けています)。

モニターの電源ライトを確認します。 電源ライトが消灯している場合、ボタンをしっかりと押して、モニターに電源が入っていることを確認します。電源ライトが点灯または点滅している場合は、モニターに電力が供給されています。電源ライトが点滅する場合は、キーボードのキーを押すかマウスを動かします。

コンセントを確認します。 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないことを確認します。

診断ライトを確認します。 37 ページ を参照してください。

DELL DIAGNOSTICS（診断）プログラムを実行します。 40 ページ を参照してください。

画面が見つらい場合

モニターの設定を確認します。 モニターのコントラストと輝度の調整、消磁、セルフテストを実行する手順については、モニターのマニュアルを参照してください。

サブウーハーをモニターから離します。 スピーカーシステムにサブウーハーが含まれている場合は、サブウーハーがモニターから 60 cm 以上離れていることを確認します。

外部電源をモニターから離します。 扇風機、蛍光灯、ハロゲンライト、およびその他の電化製品によって画面が「ぶれる」ことがあります。近くのデバイスの電源を切って干渉を調べます。

モニターの向きを変えて画面への太陽光の映りこみや電磁障害を除去します。

WINDOWS のディスプレイ設定を調整します。


- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロール パネル** をクリックして、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 2 **画面** をクリックし、**設定** タブをクリックします。
- 3 **画面の解像度** および **画面の色** を別の設定にしてみます。


アドバンストラブルシューティング


診断ライト


⚠ 警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

問題のトラブルシューティングを容易にするため、コンピュータの背面パネルに「A」、「B」、「C」、および「D」とラベルのついた4つのライトがあります（54ページを参照）。これらのライトは、黄色または緑色です。コンピュータの起動プロセスが正常に開始すると、これらのライトが点滅します。コンピュータの起動後、4つのライトすべてが緑色に点灯します。コンピュータが誤作動している場合は、ライトの色と組み合わせ順で問題を識別できます。

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
 A B C D	コンピュータが通常のオフの状態、または BIOS に障害が発生している可能性があります。	正常なコンセントにコンピュータを接続し、電源ボタンを押します。


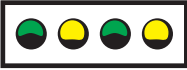
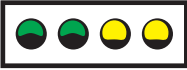
 = 黄色

 = 緑色



 = 消灯

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
 <p>A B C D</p>	<p>メモリモジュールが検出されましたが、メモリ障害が発生しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 取り付けているメモリモジュールが1つの場合は、そのモジュールを取り付けなおして（60 ページ を参照）コンピュータを再起動します。 取り付けているメモリモジュールが2つ以上の場合は、モジュールを取り外してモジュールの1つを取り付けなおし（60 ページ を参照）、コンピュータを再起動します。コンピュータが正常に起動する場合は、別のモジュールを取り付けなおします。障害のあるモジュールが見つかるまで、またはエラーなしですべてのモジュールを取り付けなおすまで続けます。 同じ種類で動作確認済みのメモリがある場合は、そのメモリをコンピュータに取り付けます（60 ページ を参照）。 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（105 ページ を参照）。
 <p>A B C D</p>	<p>グラフィックカードに障害が発生している可能性があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータにグラフィックカードを取り付けている場合は、そのカードをいったん取り外してから取り付けなおし（63 ページ を参照）、コンピュータを再起動します。 問題が解決しない場合は、動作確認済みの別のグラフィックカードを取り付け、コンピュータを再起動します。 それでも問題が解決しないか、コンピュータにオンボードグラフィックがある場合は、デルにお問い合わせください（105 ページ を参照）。
 <p>A B C D</p>	<p>フロッピードライブまたはハードドライブに障害が発生している可能性があります。</p>	<p>すべての電源ケーブルおよびデータケーブルを接続しなおし、コンピュータを再起動します。</p>

-  = 黄色
-  = 緑色
-  = 消灯


ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
 <p>A B C D</p>	<p>USB に障害が発生した可能性があります。</p>	<p>すべての USB デバイスを取り付けなおし、ケーブル接続を確認して、コンピュータを再起動します。</p>
 <p>A B C D</p>	<p>メモリモジュールは検出されましたが、メモリ構成または互換性エラーが存在します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特別なメモリモジュール / メモリコネクタ設置要件がないことを確認します (60 ページ を参照)。 取り付けるメモリモジュールにコンピュータとの互換性があることを確認します (60 ページ を参照)。 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください (105 ページ を参照)。
 <p>A B C D</p>	<p>拡張カードに障害が発生した可能性があります。</p>	<ol style="list-style-type: none"> グラフィックカード以外のカードを 1 つ取り外し (63 ページ を参照)、コンピュータを再起動して、コンフリクトが起きているかどうかを調べます。 問題が解決しない場合は、取り外したカードを取り付け、別のカードを取り外して、コンピュータを再起動します。 それぞれのカードについて、この手順を繰り返します。コンピュータが正常に起動する場合は、コンピュータから取り外した最後のカードのリソースコンフリクトのトラブルシューティングを行います (「ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決」 (49 ページ) を参照)。 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください (105 ページ を参照)。

-  = 黄色
-  = 緑色
-  = 消灯

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
 A B C D	別の障害が発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> ハードドライブ、CD ドライブ、および DVD ドライブのケーブルがシステム基板に正しく接続されているかどうかを確認します（59 ページを参照）。 デバイス（フロッピードライブやハードドライブなど）のエラーメッセージが画面に表示されている場合は、そのデバイスが正常に機能しているかどうかを確認します。 オペレーティングシステムがデバイス（フロッピードライブやハードドライブなど）からの起動を試みています。セットアップユーティリティを使って、コンピュータに取り付けられているデバイスの起動シーケンスが正しいかどうかを確認してください（90 ページを参照）。 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（105 ページを参照）。
 A B C D	POST 後、コンピュータは正常に動作しています。	なし。

-  = 黄色
-  = 緑色
-  = 消灯

Dell Diagnostics（診断）プログラム

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

コンピュータに問題が発生した場合は、デルテクニカルサポートにお問い合わせになる前に、「問題の解決」（21 ページ）のチェック事項を実行してから、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行してください。

 **注意：** Dell Diagnostics（診断）プログラムは Dell™ コンピュータでのみ機能します。

- 1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
- 2 DELL™ ロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。
キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。デスクトップが表示されたら、コンピュータをシャットダウンして（51 ページ を参照）、操作をやり直してください。
- 3 起動デバイスの一覧が表示されたら、**Boot to Utility Partition**（ユーティリティパーティションから起動）をハイライト表示して、<Enter> を押します。
- 4 Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Main Menu**（メインメニュー）が表示されたら、実行するテストを選択します（41 ページ を参照）。

Dell Diagnostics（診断）プログラムの Main Menu（メインメニュー）

- 1 Dell Diagnostics（診断）プログラムがロードされ **Main Menu**（メインメニュー）画面が表示されたら、希望のオプションのボタンをクリックします。

オプション	機能
Express Test（エクスプレステスト）	デバイスのクイックテストを実行します。通常、このテストは 10～20 分かかり、お客様の操作は必要ありません。最初に Express Test を実行すると、問題をすばやく特定することができます。
Extended Test（拡張テスト）	デバイスの全体チェックを実行します。このテストは通常 1 時間以上かかり、時々表示される質問に回答が必要です。
Custom Test（カスタムテスト）	特定のデバイスをテストします。実行するテストをカスタマイズできます。
Symptom Tree（症状ツリー）	最も一般的な症状を一覧表示し、問題の症状に基づいたテストを選択できます。

- 2 テスト実行中に問題が検出されると、エラーコードと問題の説明を示すメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を書き留め、画面の指示に従います。
エラーを解決できない場合は、デルにお問い合わせください（105 ページ を参照）。



メモ：お使いのコンピュータのサービスタグは、各テスト画面の上部にあります。デルにお問い合わせになると、テクニカルサポート担当者がお客様のサービスタグをお尋ねします。

- 3 **Custom Test**（カスタムテスト）または **Symptom Tree**（症状ツリー）オプションからテストを実行する場合は、該当するタブをクリックします（詳細については、以下の表を参照してください）。

タブ	機能
Results（結果）	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors（エラー）	発生したエラーの状態、エラーコード、および問題の説明を表示します。
Help（ヘルプ）	テストについて説明します。また、テストを実行するための要件を示す場合もあります。
Configuration（構成）	選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。 Dell Diagnostics（診断）プログラムは、セットアップユーティリティ、メモリ、および様々な内部テストからすべてのデバイスの設定情報を入手して、画面の左側ペインのデバイス一覧に表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに接続されたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。
Parameters（パラメータ）	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。

- 4 テスト画面を閉じて、**Main Menu**（メインメニュー）画面に戻ります。Dell Diagnostics（診断）プログラムを終了して、コンピュータを再起動するには、**Main Menu**（メインメニュー）画面を閉じます。

ドライバ

ドライバとは？

ドライバは、プリンタ、マウス、またはキーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。すべてのデバイスにドライバプログラムが必要です。

ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目をします。各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。お使いのコンピュータには、出荷時に必要なドライバがプリインストールされているので、新たにインストールしたり設定する必要はありません。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに付属しています。以下の場合にドライバをインストールする必要があります。


- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新しいデバイスの接続または取り付け

ドライバの確認

デバイスで問題が発生した場合は、ドライバが問題の原因でないかどうかを識別して、必要に応じてドライバをアップデートします。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムのプロパティ** ウィンドウで、**ハードウェア** タブをクリックします。
- 5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
- 6 一覧をスクロールダウンし、デバイスアイコン上の感嘆符（[!] の付いた黄色の円）の付いたデバイスを探します。
デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要な場合があります。

ドライバの再インストール

 **注意**：デルサポートサイト support.jp.dell.com では、Dell™ コンピュータ用に承認されているドライバを提供しています。その他の媒体からドライバをインストールする場合、お使いのコンピュータが適切に動作しないおそれがあります。

Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方

ドライバをインストールまたはアップデートした後でコンピュータに問題が発生した場合は、Windows XP デバイスドライバのロールバックを使ってドライバを以前のバージョンに戻します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムのプロパティ** ウィンドウで、**ハードウェア** タブをクリックします。
- 5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
- 6 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
- 7 **ドライバ** タブをクリックします。
- 8 **ドライバのロールバック** をクリックします。

デバイスドライバのロールバックを使っても問題が解決しない場合は、システムの復元を使って、新しいドライバがインストールされる前の動作状態にオペレーティングシステムを戻します。

ドライバの手動インストール

- 1 ハードドライブに必要なドライバファイルをコピーした後、**スタート** ボタンをクリックし、**マイコンピュータ** を右クリックします。
- 2 **プロパティ** をクリックします。
- 3 **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
- 4 ドライバをインストールするデバイスのタイプをダブルクリックします。
- 5 ドライバをインストールするデバイスの名前をダブルクリックします。
- 6 **ドライバ** タブをクリックし、**ドライバの更新** をクリックします。
- 7 **一覧または特定の場所からインストールする (詳細)** をクリックし、**次へ** をクリックします。
- 8 **参照** をクリックし、ドライバファイルを前回解凍した場所を探して選択します。
- 9 該当するドライバの名前が表示されたら、**次へ** をクリックします。
- 10 **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

オペレーティングシステムの復元

次のような方法でオペレーティングシステムを復元できます。

- Microsoft® Windows® XP システムの復元は、データファイルに影響を及ぼすことなく、コンピュータを以前の動作状態に戻します。データファイルを保存したままオペレーティングシステムを復元するための最初のソリューションとして、システムの復元を実行してください。
- Dell PC Restore by Symantec は、ハードドライブをコンピュータ購入時の動作状態に戻します。Dell PC Restore は、ハードドライブ上のデータを完全に削除し、コンピュータ購入後にインストールしたアプリケーションをすべて削除します。システムの復元を実行してもオペレーティングシステムの問題が解決しない場合のみ、PC Restore を使用してください。

コンピュータに『オペレーティングシステム CD』が付属していた場合は、この CD を使用してオペレーティングシステムを復元できます。ただし、『オペレーティングシステム CD』を使用するとハードドライブ上のすべてのデータが削除されます。この CD は、システムの復元を実行してもオペレーティングシステムの問題が解決しなかった場合のみ使用してください。

Microsoft Windows XP システムの復元の使い方

ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したために、コンピュータが正常に動作しなくなってしまった場合は、Microsoft Windows XP オペレーティングシステムのシステムの復元を使用して、コンピュータを以前の動作状態に復元することができます（データファイルへの影響はありません）。システムの復元の使い方については、**Windows ヘルプとサポートセンター**を参照してください。Windows ヘルプとサポートセンターにアクセスするには、[Windows ヘルプとサポートセンター](#)を参照してください。



注意：データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元は、データファイルの変更を監視したり、データファイルを復元することはできません。



メモ：本書に記載されている手順は、Windows のデフォルト表示用にかかれていたため、クラシック表示に設定している場合には適用されません。

復元ポイントの作成

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **システムの復元** のタスクをクリックします。
- 3 画面の指示に従います。

コンピュータを以前の動作状態に復元する

デバイスドライバのインストール後に問題が発生する場合は、デバイスドライバのロールバック（43 ページを参照）を使って問題を解決します。それでも問題を解決できない場合は、システムの復元を使用します。

➡ **注意：** コンピュータを以前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** の順にポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。
- 2 **コンピュータを以前の状態に復元する** が選択されていることを確認して、**次へ** をクリックします。
- 3 コンピュータを以前の状態に復元する時点の日付をクリックします。

復元ポイントの選択 画面に、復元ポイントが選べるカレンダーが表示されます。復元ポイントが利用できる日付は太字で表示されます。

- 4 復元ポイントを選んで、**次へ** をクリックします。
日付に復元ポイントが 1 つしか表示されない場合は、その復元ポイントが自動的に選択されます。複数の復元ポイントが利用できる場合は、希望する復元ポイントをクリックします。
- 5 **次へ** をクリックします。
システムの復元がデータの収集を完了した後、**復元は完了しました** 画面が表示され、コンピュータは再起動します。
- 6 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

復元ポイントを変更するには、別の復元ポイントを使って手順を繰り返すか、または復元を取り消すことができます。

以前のシステムの復元の取り消し

➡ **注意：** 以前のシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。
- 2 **以前の復元を取り消す** をクリックして、**次へ** をクリックします。


システムの復元を有効にする


空き容量が 200 MB 未満のハードディスクに Windows XP を再インストールした場合、システムの復元は自動的に無効に設定されています。システムの復元が有効になっているかどうかを確認するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムの復元** タブをクリックします。

すべてのドライブでシステムの復元を無効にする のチェックマークが外されていることを確認します。

Dell PC Restore by Symantec の使い方


 **注意** : Dell PC Restore では、ハードドライブ上のデータを完全に削除し、コンピュータ購入後にインストールしたアプリケーションをすべて削除します。できる限り、Dell PC Restore を使用する前にすべてのデータをバックアップしてください。システムの復元を実行してもオペレーティングシステムの問題が解決しない場合にのみ、PC Restore を使用してください。

 **メモ** : Dell PC Restore by Symantec は、一部の地域、一部のコンピュータでは利用できません。

Dell PC Restore by Symantec は、オペレーティングシステムを復元する最後の手段としてのみ使用してください。Dell PC Restore by Symantec は、ハードドライブをコンピュータ購入時の動作状態に戻します。コンピュータ購入後に追加したプログラムやファイルを始め、データファイルもハードドライブから完全に削除されます。データファイルとは、ワープロソフトの文書、表計算ソフトのワークシート、電子メールメッセージ、デジタル写真、音楽ファイルなどです。できる限り、Dell PC Restore を使用する前にすべてのデータをバックアップしてください。


Dell PC Restore を使用するには、以下の手順を実行します。

- 1 コンピュータの電源を入れます。
起動プロセスの間、**www.dell.com/jp** と書かれた青いバーが画面の上部に表示されます。
- 2 この青いバーが表示されたら、すぐに **<Ctrl><F11>** を押します。
<Ctrl><F11> を押すタイミングがずれた場合は、コンピュータの起動完了を待ち、再起動します。
- 3 表示された次の画面で、**Restore** (復元) をクリックします。
- 4 次の画面で、**Confirm** (確認) をクリックします。
復元プロセスの完了には 6 ~ 10 分ぐらいかかります。
- 5 プロンプトが表示されたら、**Finish** (終了) をクリックしてコンピュータを再起動します。

 **メモ** : コンピュータを手動でシャットダウンしないでください。**Finish** (終了) をクリックすると、コンピュータが完全に再起動されます。



- 6 プロンプトが表示されたら、**Yes**（はい）をクリックします。
コンピュータが再起動されます。コンピュータが元の動作状態に戻るので、表示される画面、たとえばエンドユーザーライセンス契約の画面などは、コンピュータの電源を初めて入れたときと同じものです。
- 7 **次へ** をクリックします。
システムの復元 画面が表示されて、コンピュータが再起動します。
- 8 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

Dell PC Restore の削除

 **注意**：Dell PC Restore をハードドライブから削除すると、PC Restore ユーティリティはコンピュータから完全に削除されます。Dell PC Restore を削除してしまうと、このユーティリティを使用してお使いのコンピュータのオペレーティングシステムを復元することはできなくなります。

Dell PC Restore を使用すると、ハードドライブをコンピュータ購入時の動作状態に戻すことができます。ハードドライブの空き容量を増やしたい場合でも、PC Restore をコンピュータから削除することはお勧めできません。PC Restore をハードドライブから削除してしまうと取り消しが利かず、PC Restore を使用してコンピュータのオペレーティングシステムを元の状態に戻すことはできなくなります。


PC Restore を削除するには、以下の手順を実行します。

- 1 ローカル管理者としてコンピュータにログオンします。
- 2 Windows エクスプローラで **c:\dell\utilities\DSR** に移動します。
- 3 ファイル名 **DSRIRRemv2.exe** をダブルクリックします。
 -  **メモ**：ローカル管理者としてログオンしていない場合は、管理者としてログオンする必要があることを示すメッセージが表示されます。**Quit**（終了）をクリックしてから、ローカル管理者としてログオンします。
 -  **メモ**：PC Restore のパーティションがコンピュータのハードドライブにない場合は、パーティションが見つからなかったことを示すメッセージが表示されます。**Quit**（終了）をクリックしてください。削除するパーティションはありません。
- 4 **OK** をクリックして、ハードドライブ上の PC Restore パーティションを削除します。
- 5 確認のメッセージが表示されたら、**Yes**（はい）をクリックします。
PC Restore パーティションは削除され、新たに利用可能となった容量がハードドライブの空き領域に追加されます。
- 6 Windows エクスプローラで **ローカルディスク (C)** を右クリックし、**プロパティ** をクリックします。**空き領域** の数値が増えていることで、利用できるディスク容量が増加していることを確認します。
- 7 **Finish**（完了）をクリックして **PC Restore Removal**（PC Restore の削除）ウィンドウを閉じます。
- 8 コンピュータを再起動します。

『オペレーティングシステム CD』の使い方


作業を開始する前に

新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows XP オペレーティングシステムを再インストールする場合、Windows XP のデバイスドライバのロールバックを試してみます。[Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方](#) を参照してください。デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合は、システムの復元 を使ってオペレーティングシステムを新しいデバイスドライバがインストールされる前の動作状態に戻します。[Microsoft Windows XP システムの復元の使い方](#) を参照してください。

 **注意：**この手順を実行する前に、お使いのプライマリハードドライブのすべてのデータファイルをバックアップします。通常のハードドライブ構成では、プライマリハードドライブはコンピュータによって1番目のドライブとして認識されます。


Windows XP を再インストールするには、以下のアイテムが必要です。

- Dell™ 『オペレーティングシステム CD』
- Dell 『ResourceCD』

 **メモ：**『ResourceCD』には、コンピュータの製造工程でプリインストールされたドライバが収録されています。『ResourceCD』を使用して必要なドライバをロードします。コンピュータを発注した地域によって、または CD を購入品目に加えたかどうかによって、『Drivers and Utilities CD』と『オペレーティングシステム CD』がシステムに同梱されていない場合があります。

Windows XP の再インストール

再インストール処理を完了するには、1～2時間かかることがあります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。

 **注意：**『オペレーティングシステム CD』には、Windows XP の再インストール用のオプションが収録されています。オプションはファイルを上書きして、ハードドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者の指示がない限り Windows XP を再インストールしないでください。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 『オペレーティングシステム CD』を挿入します。Install Windows XP (Windows XP のインストール) というメッセージが表示された場合は、**Exit** (終了) をクリックします。
- 3 コンピュータを再起動します。
- 4 DELL™ ロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

オペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるのを待って、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

画面に表示される指示に従ってインストールを完了します。

ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決

オペレーティングシステムのセットアップ中にデバイスが検知されないか、検知されたが正しく設定されていない場合は、ハードウェアに関するトラブルシューティングを使って非互換性を解決できます。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを使って非互換性を解決するには、以下の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **検索** 領域で、`hardware troubleshooter` と入力し、矢印をクリックして検索を開始します。
- 3 **検索結果** 一覧で、**ハードウェアに関するトラブルシューティング** をクリックします。
- 4 **ハードウェアに関するトラブルシューティング** 一覧で、**コンピュータにあるハードウェアの競合を解決する必要があります** をクリックして、**次へ** をクリックします。

部品の取り外しと取り付け

作業を開始する前に

本章では、お使いのコンピュータの部品の取り外しと取り付けの手順について説明します。特に指示がない限り、それぞれの手順では以下の条件を満たしていることを前提とします。


- 「コンピュータの電源を切る」および「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順をすでに完了していること。
- Dell™ の『製品情報ガイド』の安全に関する情報をすでに読んでいること。
- 取り外しの手順を逆の順序で実行することで部品の取り付けができること。

推奨する工具とツール

本書で説明する操作には、以下のような工具とツールが必要です。

- 小型のマイナスドライバ
- プラスドライバ


コンピュータの電源を切る


 **注意：**データの損失を防ぐため、開いているすべてのファイルを保存してから閉じ、実行中のすべてのプログラムを終了してから、コンピュータの電源を切ります。


- 1 オペレーティングシステムをシャットダウンするには、次の手順を実行します。
 - a 開いているすべてのファイルを保存してから閉じ、実行中のすべてのプログラムを終了します。次に、**スタート** ボタンをクリックして、**終了オプション** をクリックします。
 - b **コンピュータの電源を切る** ウィンドウで、**電源を切る** をクリックします。
オペレーティングシステムのシャットダウン処理が完了すると、コンピュータの電源が切れます。
- 2 コンピュータおよび取り付けられているデバイスの電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンした際に、コンピュータおよび取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合は、電源ボタンを 4 秒以上押し続けます。


コンピュータ内部の作業を始める前に


身体の安全を守り、コンピュータを損傷から保護するために、次の安全に関する注意事項に従ってください。

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。


 **警告：**部品やカードは丁寧に扱ってください。カード上の部品や接続部分には触れないでください。カードを持つ際は縁を持つか、金属製の取り付けブラケットの部分を持ってください。プロセスサッチャップなどの部品を持つ際は、ピンではなく縁を持ってください。

 **注意：**コンピュータの修理は、認可されたサービス技術者のみが行ってください。デルで認められていない修理による損傷は、保証の対象となりません。

 **注意：**ケーブルを外す際は、ケーブルそのものを引っ張らずに、コネクタやストレインリリーフープをつかんで抜いてください。ケーブルによっては、ロックタブ付きのコネクタがあるケーブルもあります。このタイプのケーブルを取り外すときは、ロックタブを押し入れてからケーブルを抜きまます。コネクタを外すときは、コネクタピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続するときは、両方のコネクタがまっすぐに向き合っていることを確認してください。


 **注意：**コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行します。

1 コンピュータの電源を切ります（51 ページ を参照）。


 **注意：**ネットワークケーブルを取り外すには、まずコンピュータからケーブルを外し、次に、壁のネットワークジャックから外します。

2 電話回線や通信回線をコンピュータから取り外します。

3 コンピュータと接続されているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押してシステム基板の静電気を逃がします。

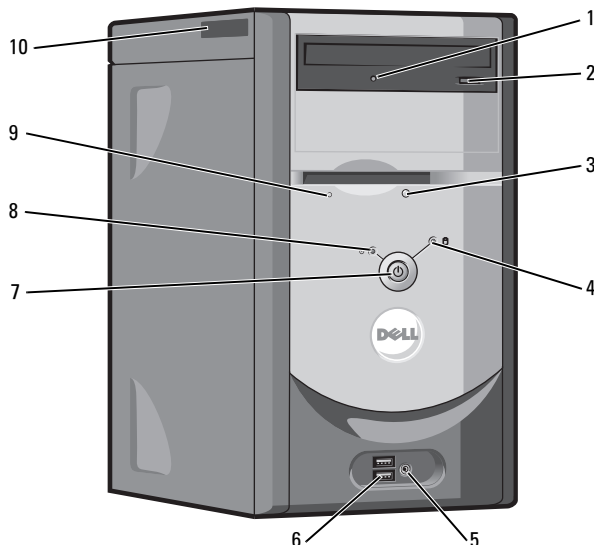
 **警告：**感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

4 コンピュータカバーを開きます（57 ページ を参照）。

 **注意：**コンピュータ内部に触れる前に、コンピュータ背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を逃がしてください。作業中も、定期的に塗装されていない金属面に触れて、内蔵コンポーネントを損傷するおそれのある静電気を逃がしてください。

コンピュータの正面および背面

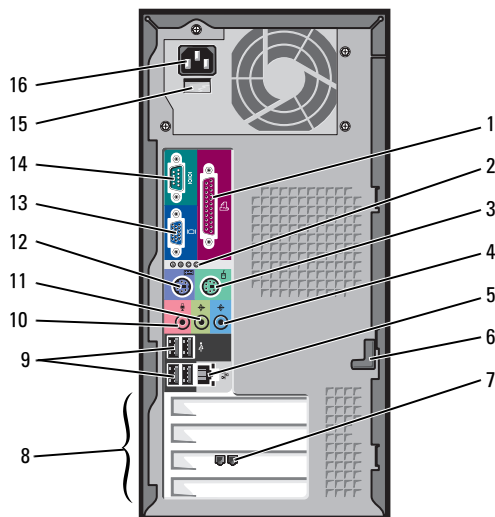
正面



1	CD または DVD ドライブアクティビティライト	ドライブアクティビティライトは、コンピュータが CD または DVD ドライブからデータを読み取る際に点灯します。
2	CD または DVD ドライブ取り出しボタン	このボタンを押して、CD または DVD ドライブからディスクを取り出します。
3	フロッピードライブ取り出しボタン	このボタンを押して、フロッピーディスクをフロッピードライブから取り出します。 (オプションのフロッピードライブ搭載のコンピュータ用)
4	ハードドライブアクティビティライト	ライトは、コンピュータがハードドライブからデータを読み取ったり、ハードドライブにデータを書き込んだりする際に点灯します。このライトは、CD プレーヤーなどのデバイスが動作しているときにも点灯します。
5	ヘッドフォンコネクタ	ヘッドフォンコネクタを使用して、ヘッドフォンやほとんどの種類のスピーカーを接続できます。
6	USB 2.0 コネクタ (2)	ジョイスティックやカメラ、または起動可能な USB デバイスなど、時々接続するデバイスには、前面 USB コネクタを使用します (USB デバイスの起動についての詳細は、「セットアップユーティリティ」 (90 ページ) を参照してください)。 プリンタやキーボードなど通常接続したままのデバイスには、背面の USB コネクタを使用することをお勧めします。

7 電源ボタン	<p>このボタンを押して、コンピュータに電源を入れます。</p> <p>注意：データの損失を防ぐため、電源ボタンを使ってコンピュータの電源を切らないでください。電源ボタンを押さずに、オペレーティングシステムのシャットダウンを実行してください。</p>
8 電源ライト	<p>電源ライトは、点滅と点灯とで異なる状態を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 点灯しない — コンピュータの電源は切れています。 • 緑色の点灯 — コンピュータは通常の動作状態です。 • 緑色の点滅 — コンピュータは省電力状態です。 • 点滅または黄色の点灯 — 「電源の問題」 (31 ページ) を参照してください。
9 フロッピードライブアクティビティライト	<p>フロッピードライブライトは、コンピュータがフロッピードライブからデータを読み書きしている際に点灯します。このライトが消えてから、フロッピーディスクをドライブから取り出します。</p> <p>(オプションのフロッピードライブ搭載のコンピュータ用)</p>
10 サービスタグ	<p>デルサポートウェブサイトアクセスしたり、テクニカルサポートに問い合わせる際、コンピュータの識別に使用します。</p>

コンピュータの背面



1 パラレルコネクタ	<p>プリンタなどのパラレルデバイスをパラレルコネクタに接続します。USB プリンタをお使いの場合は、USB コネクタに差し込みます。</p>
2 診断ライト (4)	<p>診断ライトは、診断コードを基にコンピュータの問題を解決するのに役立ちます。詳細については、「診断ライト」 (37 ページ) を参照してください。</p>

3	マウスコネクタ	標準マウスをお使いの場合は、緑色のマウスコネクタに差し込みます。コンピュータおよび取り付けられているすべてのデバイスの電源を切ってから、マウスをコンピュータに接続します。USB マウスをお使いの場合は、USB コネクタに差し込みます。
4	ライン入力コネクタ	青色のライン入力コネクタにカセットプレーヤー、CD プレーヤー、または VCR（ビデオカセットレコーダー）などの録音 / 再生デバイスを接続します。サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合は、カードのコネクタを使用します。
5	ネットワークアダプタコネクタ	<p>コンピュータをネットワークやブロードバンドデバイスに接続するには、ネットワークケーブルの一方の端をネットワークジャックやブロードバンドデバイスに接続します。ネットワークケーブルのもう一方の端をコンピュータのネットワークアダプタコネクタに接続します。カチッと音がすれば、ネットワークケーブルはしっかり接続されています。</p> <p>メモ： ネットワークコネクタにモデムケーブルを接続しないでください。ネットワークコネクタカードが搭載されたコンピュータの場合は、カードのコネクタを使用します。</p> <p>ネットワークには、カテゴリ 5 の配線とコネクタを使用することをお勧めします。カテゴリ 3 の配線を使用する必要がある場合、信頼性のあるオペレーションを保証するために、ネットワーク速度を 10 Mbps に設定してください。</p>
6	カバーラッチ	カバーをコンピュータから外します。「コンピュータカバーの取り外し」（57 ページ）を参照してください。
7	モデムコネクタ	<p>（オプション）モデムをお持ちの場合は、モデムケーブルをモデムコネクタのいずれかに接続します。モデムケーブルをネットワークコネクタに接続しないでください。</p> <p>メモ： コネクタが 1 つしかないモデムもあります。</p>
8	カードスロット	取り付けられたすべての PCI カード用のアクセスコネクタです（スロット 3 つ）。
9	USB 2.0 コネクタ (4)	<p>プリンタやキーボードなど、通常接続したままのデバイスには背面 USB コネクタを使用します。</p> <p>ジョイスティックやカメラなど、時々接続するデバイスまたは起動可能な USB デバイスには、前面 USB コネクタを使用することをお勧めします。</p>

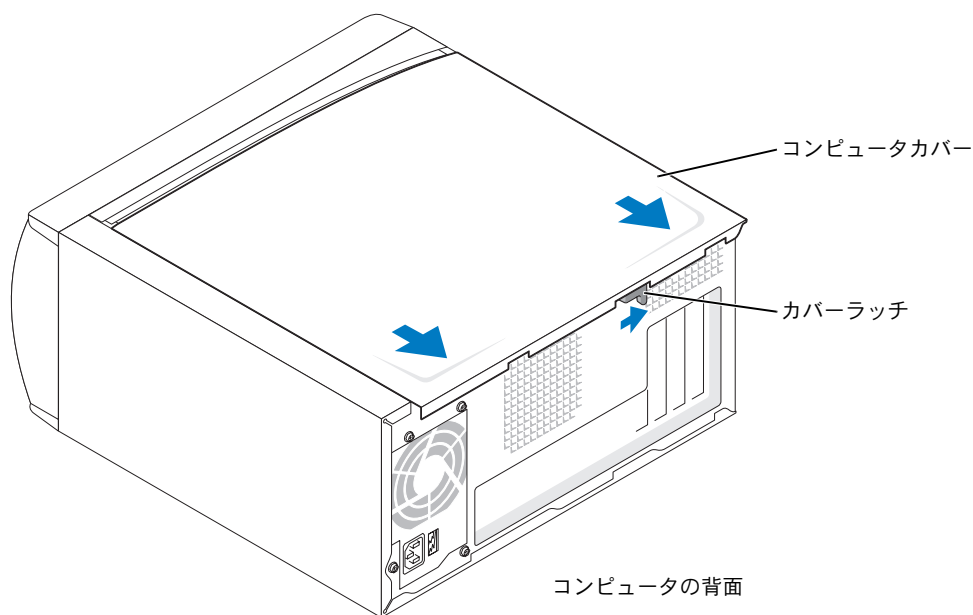
10	マイクコネクタ	桃色のマイクコネクタにパーソナルコンピュータ用マイクを接続し、音声や音楽をサウンドまたはテレフォニープログラムに入力します。 サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合は、カードのマイクコネクタを使用します。
11	ライン出力コネクタ	緑色のライン出力コネクタにヘッドフォンやほとんどのアンプ内蔵型スピーカーを接続します。 サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合は、カードのコネクタを使用します。
12	キーボードコネクタ	標準のキーボードをお使いの場合は、紫色のキーボードコネクタにキーボードケーブルを差し込みます。USB キーボードをお使いの場合は、USB コネクタに差し込みます。
13	オンボードビデオコネクタ	このコネクタに保護キャップがかぶせられている場合、お使いのコンピュータにはオプションのビデオカードが取り付けられています。このコネクタに保護キャップがかぶせられていない場合は、モニターからのケーブルを青色のコネクタに接続します。
14	シリアルコネクタ	ハンドヘルドデバイスなどのシリアルデバイスをシリアルポートに接続します。
15	電圧選択スイッチ	詳細については、『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくために」の注意事項を参照してください。
16	電源コネクタ	電源ケーブルを差し込みます。

コンピュータカバーの取り外し

⚠ 警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。


⚠ 警告：感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。


- 1 「作業を開始する前に」(51 ページ) の手順に従ってください。
- 2 コンピュータカバーの面が上になるようにコンピュータを置きます。
- 3 コンピュータカバーにカバーラッチがある場合は、カバーラッチをスライドさせた状態のままにしておきます。
- 4 コンピュータカバーのへこみをつかみ、コンピュータカバーをコンピュータの背面方向にスライドさせます。

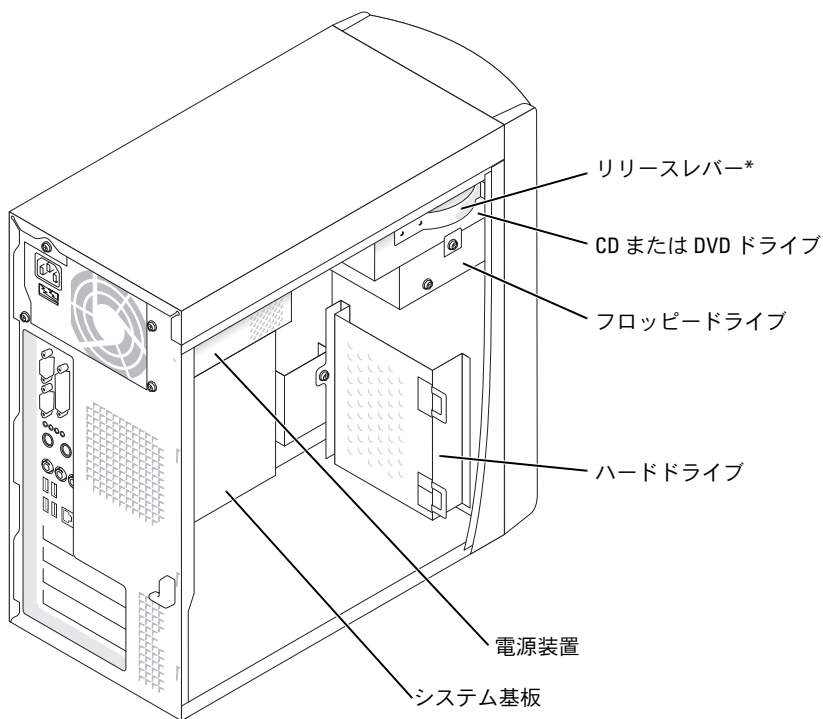


- 5 コンピュータカバーを平らな所に置きます。

コンピュータの内部

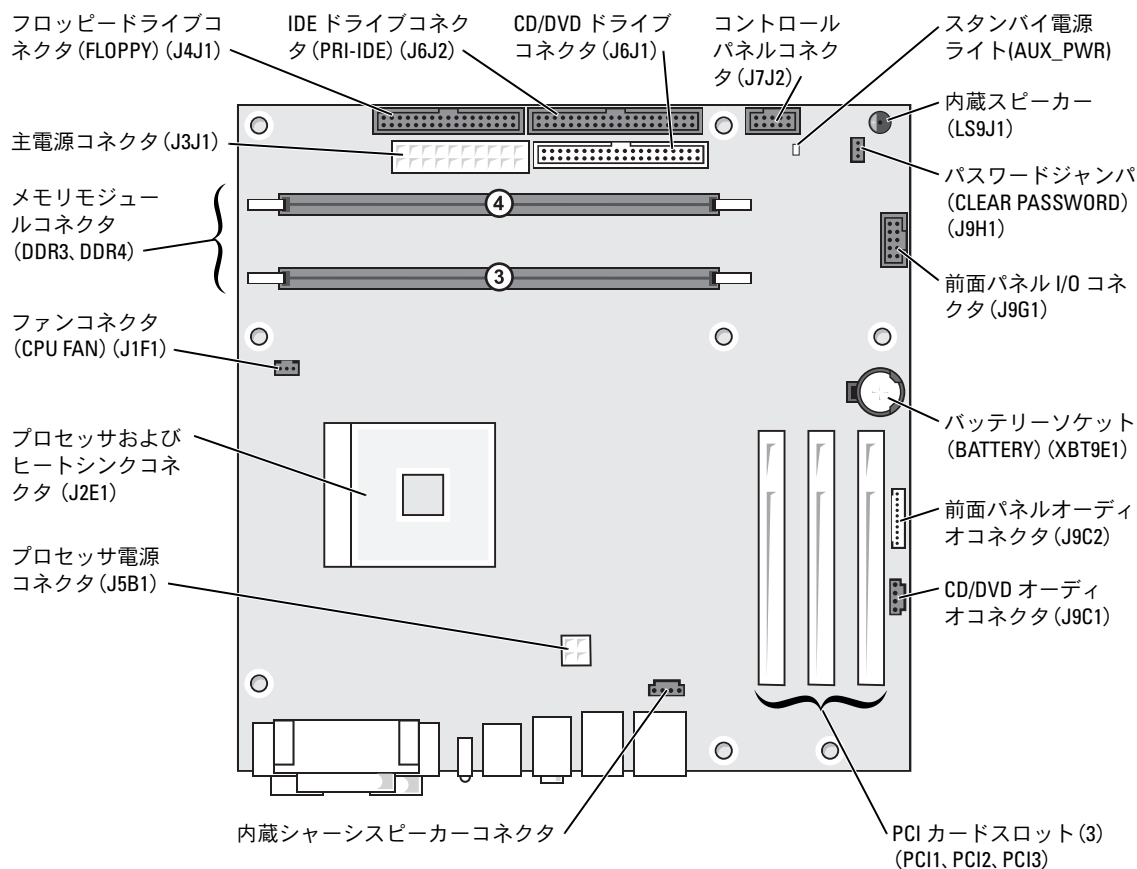
 警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。

 警告：感電防止のため、コンピュータのカバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。




*機種によってはない場合があります。

システム基板のコンポーネント




メモリ


システム基板にメモリモジュールを取り付けることで、コンピュータメモリを増やすことができます。お使いのコンピュータに対応するメモリの詳細については、87 ページの「メモリ」を参照してください。

 **メモ**：DDR 333 メモリは、800 MHz のフロントサイドバスとともに使用すると、320 MHz で動作します。

DDR メモリの概要

DDR メモリモジュールは、必ず同じメモリサイズのものを 2 枚 1 組のペアで取り付ける必要があります。このため、128 MB のメモリが装着されたコンピュータを購入した場合、128 MB のメモリを増設するには、適切なコネクタに取り付ける必要があります。DDR メモリモジュールを同じメモリサイズのペアで取り付けていない場合、コンピュータは動作しますが、パフォーマンスがやや低下します。

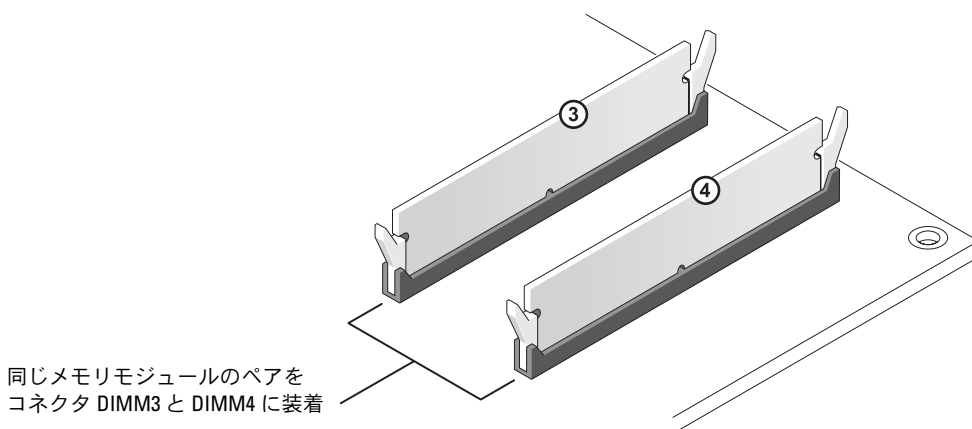
 **メモ**：必ずシステム基板に示されている順序で DDR メモリモジュールを取り付けてください。

 **メモ**：お使いのコンピュータには、DIMM3 および DIMM4 というラベルの付いた 2 つのメモリスロットがあります。

推奨されるメモリ構成は次のとおりです。

- コネクタ DIMM3 と DIMM4 に同じメモリモジュールのペアを装着。
- ECC メモリモジュールを装着しないでください。
- PC2700 (DDR 333 MHz) と PC3200 (DDR 400 MHz) のメモリモジュールのペアを組み合わせで装着した場合は、装着したモジュールのうち、遅い方のスピードで動作します。
- 他方のコネクタにメモリモジュールを装着する前に、プロセッサに近い方の DIMM3 のコネクタに単一のメモリモジュールを装着してください。

メモリ取り付けガイドライン



- ➡ **注意：**新しく装着するモジュールをデルからお買い上げになった場合でも、メモリのアップグレード中にコンピュータから取り外した元のメモリは、新しいメモリとは別に保管してください。新しいメモリモジュールはコネクタ DIMM3 と DIMM4 に装着する必要があります。できるだけ、新しいメモリモジュールと元のメモリモジュールをペアにしないでください。ペアにすると最適なパフォーマンスが得られない場合があります。

📌 **メモ：**デルからご購入されたメモリは、お使いのコンピュータの保証の対象になっています。

メモリの取り付け

⚠️ **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。

- 1 **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします (51 ページ を参照)。
- 2 コンピュータと接続されているデバイスの電源が切れていることを確認します。コンピュータをシャットダウンした際に、コンピュータおよび取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合は、ここでそれらの電源を切ります。

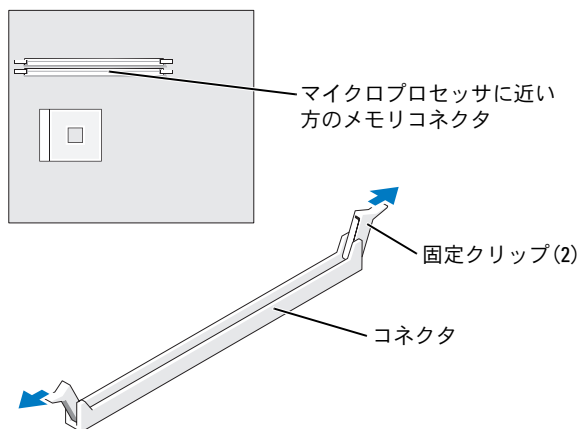
➡ **注意：**ネットワークケーブルを取り外すには、まずコンピュータからケーブルを外し、次に、壁のネットワークジャックから外します。

- 3 電話回線や通信回線をコンピュータから取り外します。
- 4 コンピュータと接続されているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押してシステム基板の静電気を逃がします。

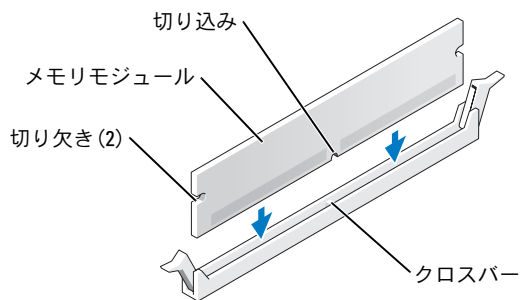
⚠️ **警告：**感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 5 コンピュータカバーを取り外します (57 ページ を参照)。
- 6 コンピュータ内でシステム基板が下になるように、コンピュータを横に倒します。

- 7 必要に応じてメモリモジュールを取り外します。
- a メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押して開きます。
 - b モジュールをつかんで引き上げます。
モジュールが取り外しにくい場合は、モジュールを前後に慎重に動かして緩め、コネクタから取り外します。
- 8 モジュールを差し込むには、メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押し開きます。



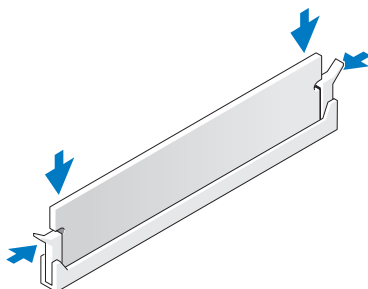
- 9 メモリモジュールの底部にある切り込みと、コネクタのクロスバーを合わせます。



➡ 注意：メモリモジュールの損傷を防ぐために、モジュールの中央付近を押さないでください。

- 10 モジュールがコネクタ両端の垂直ガイドに収まっていることを確認しながら、モジュールをコネクタにまっすぐ差し込みます。モジュールがカチッと所定の位置に収まるまで、モジュールの両端をしっかり押します。

モジュールを正しく挿入すると、固定クリップはモジュール両端の切り欠きにカチッと収まります。



- 11 コンピュータカバーを取り付けます（86 ページ を参照）。
- ➡ **注意：** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 12 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 13 **スタート** ボタンをクリックし、**マイコンピュータ** を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
- 14 **全般** タブをクリックします。
- 15 メモリが正しく取り付けられていることを確認するには、記載されているメモリ容量（RAM）を確認します。

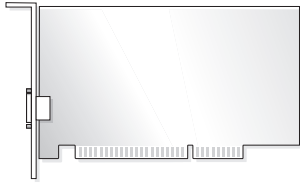
カード

! **警告：** 『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。

➡ **注意：** コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を逃がしてください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を逃がすことができます。

お使いの Dell™ コンピュータには、PCI カード用に 3 つのスロットが用意されています。

PCI カード

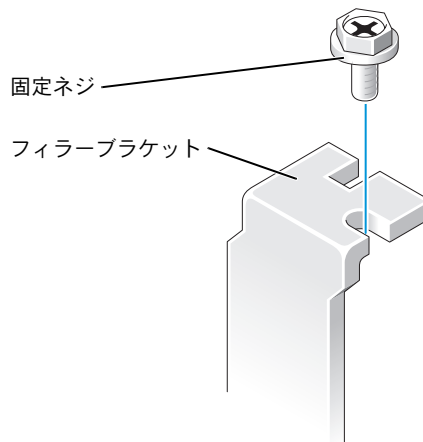


カードの取り付けや交換を行う場合には、次項の手順に従います。カードの交換ではなく取り外しを行う場合は、「PCI カードの取り外し」（66 ページ）を参照してください。

カードを交換する場合は、現在使用しているカードのドライバをオペレーティングシステムから削除します。

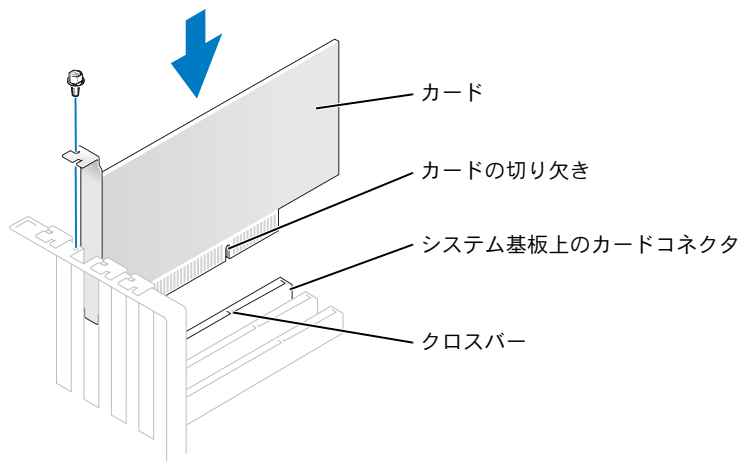
PCI カードの取り付け

- 1 「作業を開始する前に」（51 ページ）の手順に従ってください。
- 2 使用するカードスロットのフィラーブラケットに付けられたネジを緩めて取り外します。

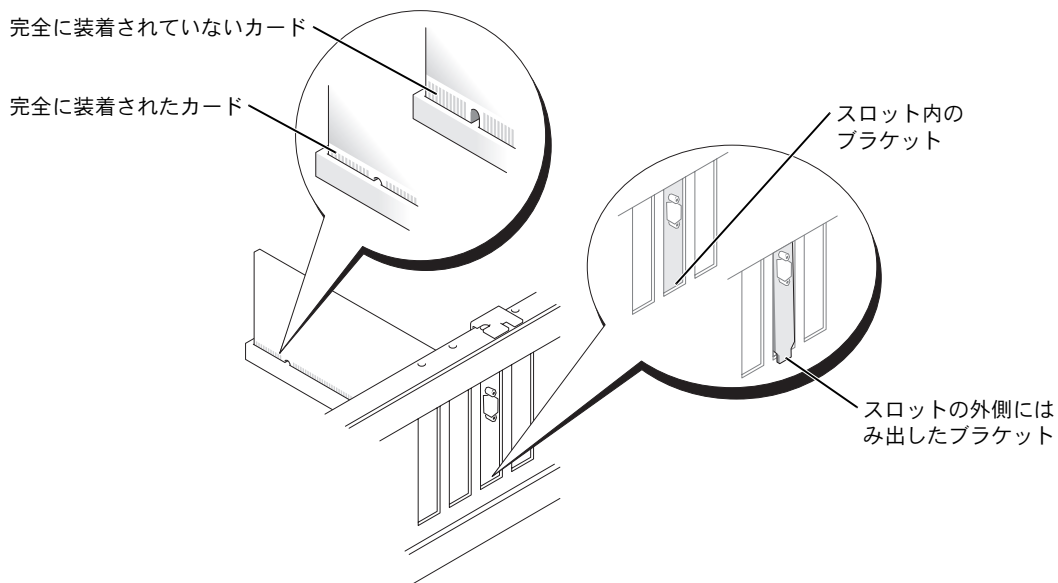


⚠ 警告：ネットワークアダプタの中には、ネットワークに接続すると自動的にコンピュータを起動するものがあります。感電を防ぐため、カードを取り付ける前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。


- 3 カード底面の切り欠きをシステム基板コネクタのクロスバーに合わせます。カードが完全に装着されるまで、カードを慎重に動かしながらコネクタに取り付けます。



カードが完全に装着されて、そのブラケットがカードスロット内にあることを確認します。





- 4 手順 手順 2 で取り外したネジを使ってカードブラケットを固定します。
- 5 必要なすべてのケーブルをカードに接続します。
カードのケーブル接続については、カードに付属のマニュアルを参照してください。

-  **注意：**カードケーブルは、カードの上や後ろを通して配線しないでください。カードの上を通して配線したケーブルは、装置が損傷する原因になります。
- サウンドカードを取り付けた場合は、次の手順を実行します。
 - セットアップユーティリティを起動し（90 ページ を参照）、**Audio Controller** を選択して、設定を **Off** に変更します。
 - 外付けオーディオデバイスをサウンドカードのコネクタに接続します。外付けオーディオデバイスは、背面パネルのマイクコネクタ、スピーカー / ヘッドフォンコネクタ、またはライン入力コネクタには接続しないでください。
 - アドインネットワークアダプタを取り付けたため、内蔵ネットワークアダプタを無効にする場合は、次の手順を実行します。
 - セットアップユーティリティを起動し（90 ページ を参照）、**Network Controller** を選択して、設定を **Off** に変更します。
 - ネットワークケーブルをアドインネットワークアダプタのコネクタに接続します。ネットワークケーブルは、背面パネルの内蔵コネクタには接続しないでください。
 - カードのマニュアルの説明に従って、カードに必要なすべてのドライバをインストールします。

PCI カードの取り外し


- 「作業を開始する前に」（51 ページ）の手順に従ってください。
- 必要に応じて、カードに接続されたケーブルを取り外します。
- カードブラケットから固定ネジを取り外します。
- カードの上端の角をつかみ、コネクタから引き抜きます。
- カードを取り外したままにする場合は、空のカードスロット開口部にフィラーブラケットを取り付けます。
フィラーブラケットが必要な場合は、デルにお問い合わせください（105 ページ を参照）。


 **メモ：**コンピュータの FCC 認証を満たすには、フィラーブラケットを空のカードスロット開口部に取り付ける必要があります。また、フィラーブラケットを装着すると、コンピュータをほこりやゴミから保護できます。

-  **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- コンピュータカバーを閉じ、コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
 - カードのドライバをオペレーティングシステムから削除します。

- 8 サウンドカードを取り外した場合は、次の手順を実行します。
 - a セットアップユーティリティを起動し（90 ページ を参照）、**Audio Controller** を選択して、設定を **On** に変更します。
 - b 外付けオーディオデバイスを、コンピュータ背面パネルのオーディオコネクタに接続します。
- 9 アドインネットワークコネクタを取り外した場合は、次の手順を実行します。
 - a セットアップユーティリティを起動し（90 ページ を参照）、**Network Controller** を選択して、設定を **On** に変更します。
 - b ネットワークケーブルをコンピュータ背面パネルの内蔵コネクタに接続します。

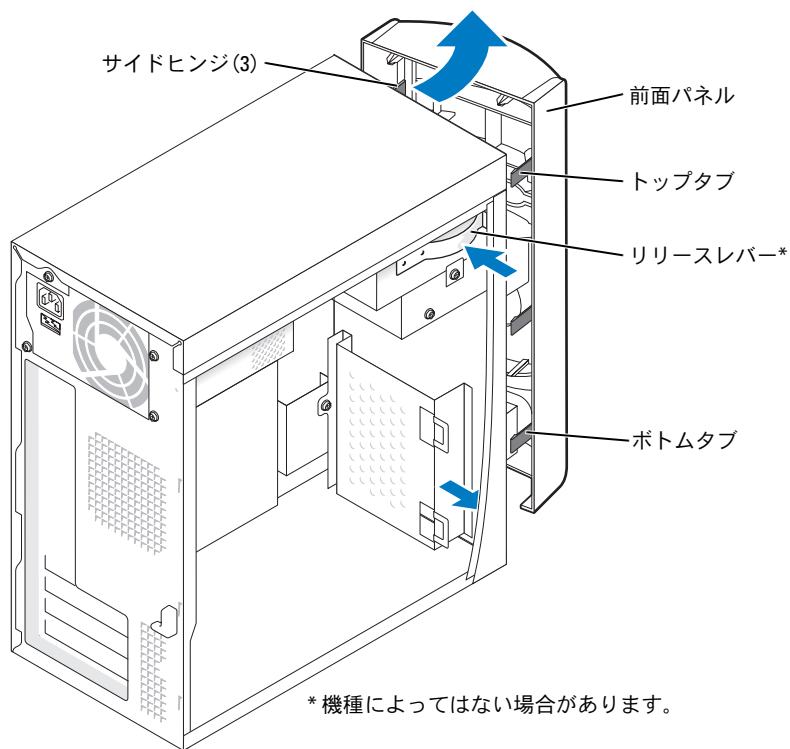
前面パネル

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。

 **警告：**感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

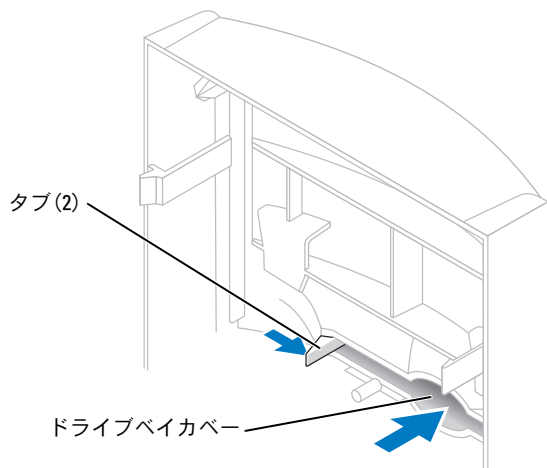
前面パネルの取り外し

- 1 「作業を開始する前に」（51 ページ）の手順に従ってください。
- 2 コンピュータカバーを取り外します（57 ページ を参照）。
- 3 前面パネルを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a リリースレバーが付いているコンピュータの場合は、リリースレバーを押してトップタブを外します。
 - b コンピュータの内部に手を入れ、トップタブとボトムタブを手前に引いて外します。
 - c 前面パネルを動かしてサイドヒンジから離します。



ドライブベイカバーの取り外し

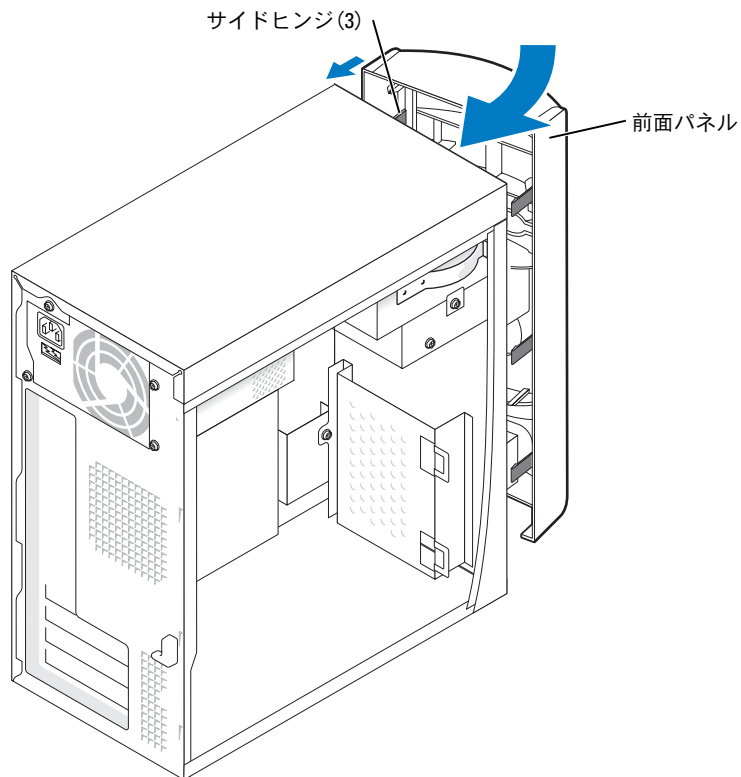
- 1 2つの挿入タブを内側に押し込みます。



- 2 ドライブベイカバーを押し出します。

前面パネルの取り付け

- 1 前面パネルをサイドヒンジに取り付けます。



- 2 前面パネルを回転させてコンピュータの正面にはめ込みます。

ドライブ

このコンピュータでは、次のデバイスの組み合わせをサポートしています。

- ハードドライブ 1 台
- オプションのフロッピードライブ 1 台
- 2 台までの CD または DVD ドライブ

一般的な取り付けガイドライン

システム基板上の「PRI IDE」というラベルの付いたコネクタに IDE ハードドライブを接続します。「J6J1」というラベルの付いたコネクタに CD/DVD ドライブを接続します。

1 本の IDE インタフェースケーブルに 2 個の IDE デバイスを接続し、それらを「cable select」に設定する場合、インタフェースケーブルの最後のコネクタに接続されたデバイスはプライマリデバイスまたは起動デバイス（ドライブ 0）、インタフェースケーブルの中央のコネクタに接続されたデバイスはセカンダリデバイス（ドライブ 1）となります。デバイスの「cable select」設定の詳細については、アップグレードキットに含まれているドライブのマニュアルを参照してください。

ドライブケーブルの接続

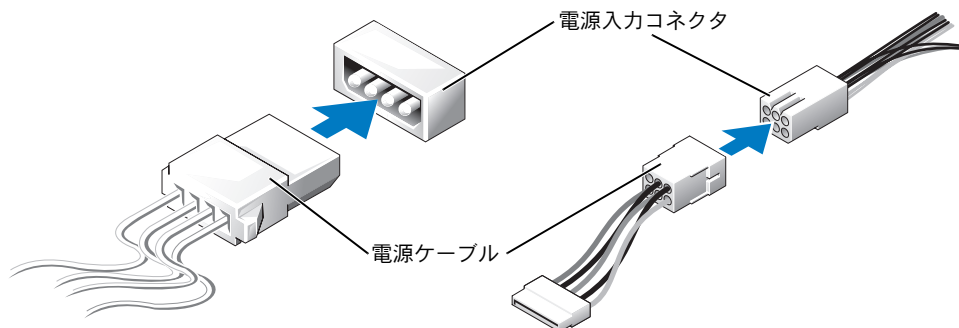
ドライブを取り付ける場合は、2 本のケーブル（DC 電源ケーブルとデータケーブル）をドライブの背面およびシステム基板に接続します。一部のドライブはオーディオコネクタも備えています。オーディオコネクタの一方の端をドライブコネクタに接続し、もう一方の端をシステム基板に接続します。

ドライブインタフェースコネクタ

ほとんどのインタフェースコネクタは、正しく接続されるように設計されています。つまり、片方のコネクタに切り込みや欠けたピンがあり、もう一方のコネクタにあるつめや塞がれたピン穴と一致するようになっています。

IDE ケーブルを接続する場合は、色帯を 1 番ピンのコネクタに合わせます。IDE ケーブルを取り外す場合は、色付きのプルタブをつかみ、引き抜いてコネクタから外します。

電源ケーブルコネクタ



ハードドライブ

⚠ 警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。

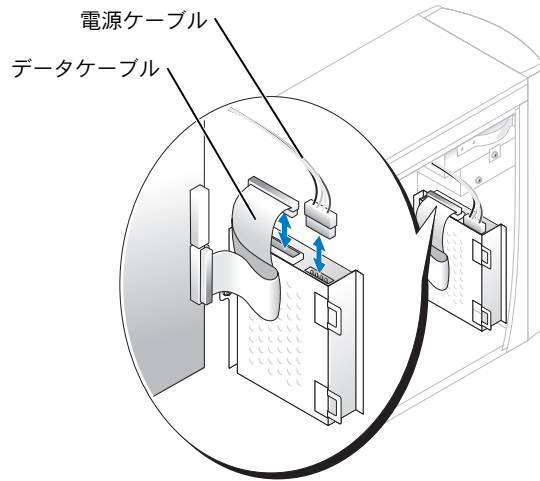
⚠ 警告：感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

➡ 注意：ドライブへの損傷を防ぐため、ドライブを硬い所に置かないでください。ドライブは、発泡樹脂製のパッドなど十分なクッション性のあるものの上に置いてください。

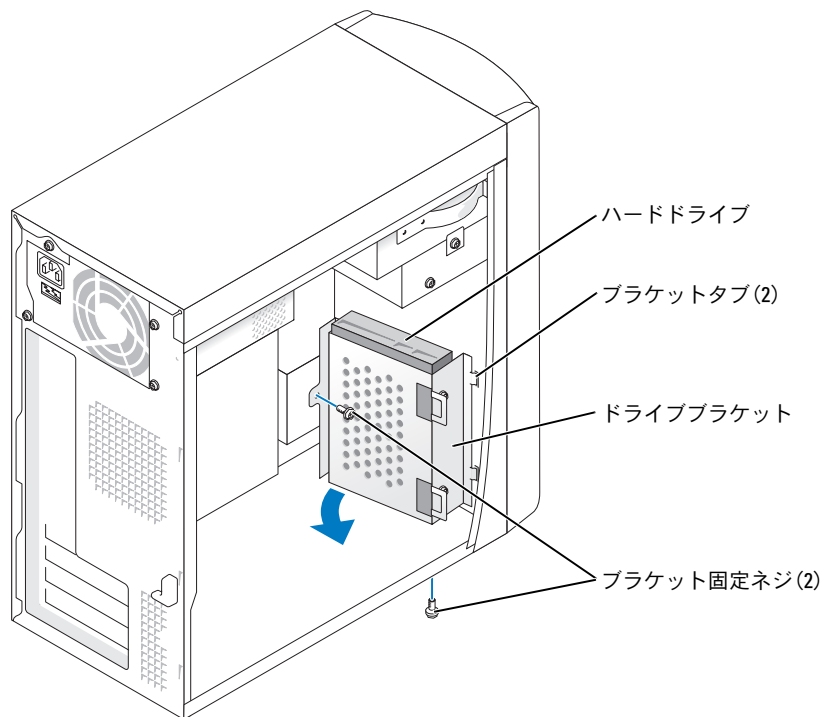
- 1 残しておきたいデータを保存しているハードドライブを交換する場合は、ファイルのバックアップを取ってから、次の手順を開始します。
- 2 「作業を開始する前に」(51 ページ) の手順に従ってください。
- 3 コンピュータカバーを取り外します (57 ページ を参照)。

ハードドライブの取り外し

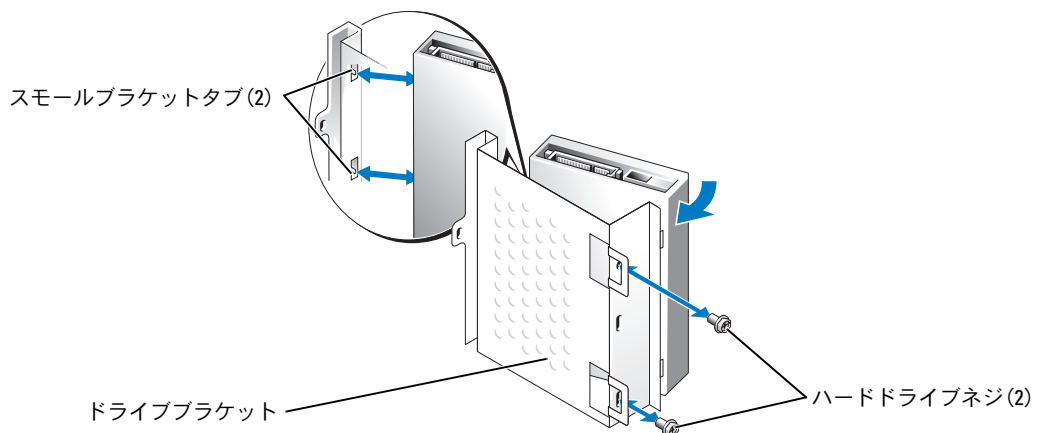
- 1 電源ケーブルとデータケーブルをドライブとシステム基板から取り外します。



- 2 ハードドライブブラケットをコンピュータから取り外します。
 - a ブラケットをコンピュータに固定している2本のネジを取り外します。
 - b ブラケットタブがコンピュータから外れるように、ブラケットを回転させます。
 - c ハードドライブが装着されたブラケットをコンピュータから取り外します。

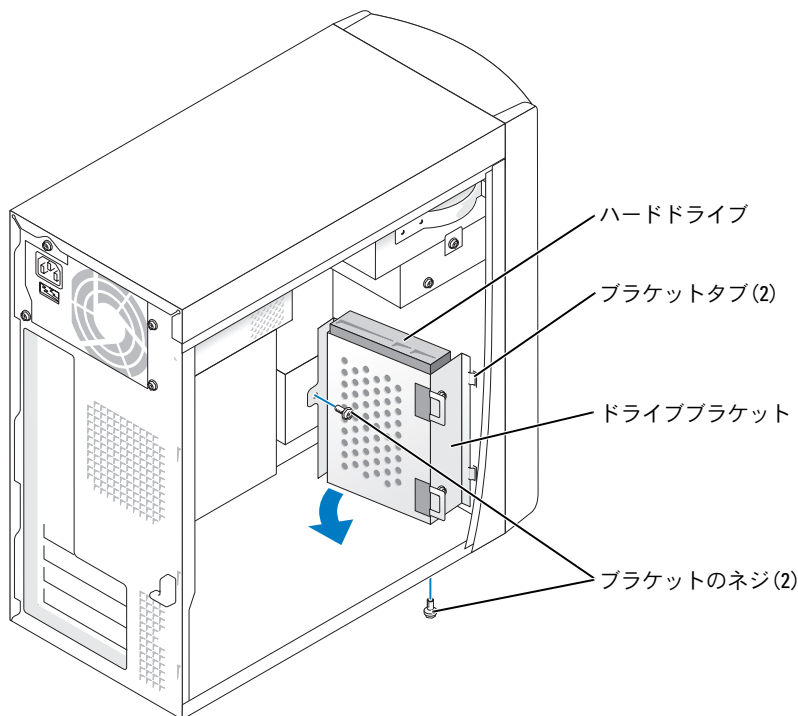


- 3** ハードドライブを交換する場合は、次の手順でドライブをブラケットから取り外します。
- a** ハードドライブ固定ネジを取り外します。
 - b** ハードドライブをブラケットから取り外します。



ハードドライブの取り付け

- 1 交換用のハードドライブを箱から取り出して、取り付けの準備をします。
- 2 ドライブのマニュアルを参照して、ドライブの設定がお使いのコンピュータに合っていることを確認します。
- 3 ハードドライブブラケットを取り外します（72 ページ を参照）。
- 4 次の手順で、ハードドライブをハードドライブブラケットに取り付けます。
 - a スモールブラケットタブをドライブの片側のドライブネジ穴に差し込みます。
 - b ドライブを慎重にブラケット側に動かし、ドライブの反対側の 2 つのネジ穴をブラケットのネジ穴に合わせます。
 - c ハードドライブをハードドライブブラケットに固定する 2 本のネジを差し込んで締めます。
- 5 次の手順で、ハードドライブが入ったハードドライブブラケットを取り付けます。
 - a 2 つのブラケットタブをコンピュータ内部の 2 つのブラケット固定スロットに挿入します。
 - b ブラケットを前面パネルの方向へ回転させ、ブラケットのネジ穴をシャーシのネジ穴と合わせます。
 - c ブラケットをコンピュータに固定する 2 本のネジを取り付けます。



- 6 電源ケーブルをドライブに接続します。
- 7 データケーブルをドライブとシステム基板に接続します (59 ページ を参照)。
- 8 コンピュータカバーを閉じます (86 ページ を参照)。
- ➡ **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 9 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。
- 10 取り付けたドライブがプライマリドライブの場合は、ドライブ A に起動用フロッピーディスクを挿入します。
- 11 コンピュータの電源を入れます。
- 12 セットアップユーティリティを起動し (90 ページ を参照)、該当する **Drive** (ドライブ) オプションを更新します。
- 13 セットアップユーティリティを終了して、コンピュータを再起動します。
- 14 次の手順に進む前に、ドライブにパーティションを作成して、論理フォーマットを実行します。
手順については、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。
- 15 Dell Diagnostics (診断) プログラム を実行して、ハードドライブをテストします (40 ページ を参照)。
- 16 取り付けたドライブがプライマリドライブの場合は、そのハードドライブにオペレーティングシステムをインストールします。

フロッピードライブ

⚠ 警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。

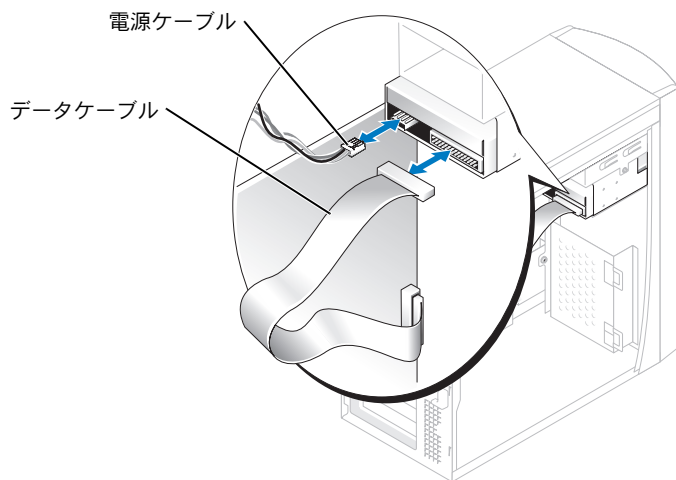
⚠ 警告：感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 1 「作業を開始する前に」(51 ページ) の手順に従ってください。
- 2 前面パネルを取り外します (67 ページ を参照)。

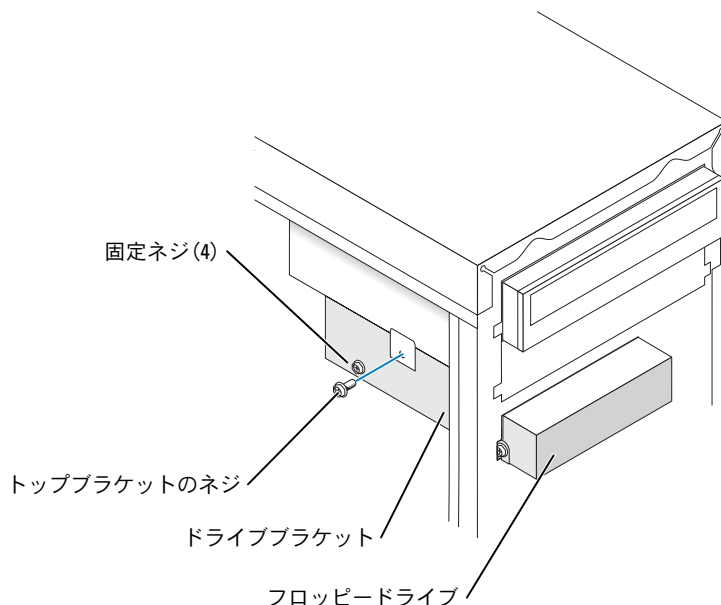
📌 メモ：フロッピードライブを追加する場合は、「フロッピードライブの取り付け」(77 ページ) を参照してください。

フロッピードライブの取り外し

- 1 フロッピードライブの背面とシステム基板から電源ケーブルとデータケーブルを取り外します (59 ページ を参照)。




- 2 次の手順で、フロッピードライブブラケットをコンピュータから取り外します。
 - a フロッピードライブブラケットを固定しているネジを取り外します。
 - b フロッピードライブブラケットをコンピュータから取り外します。

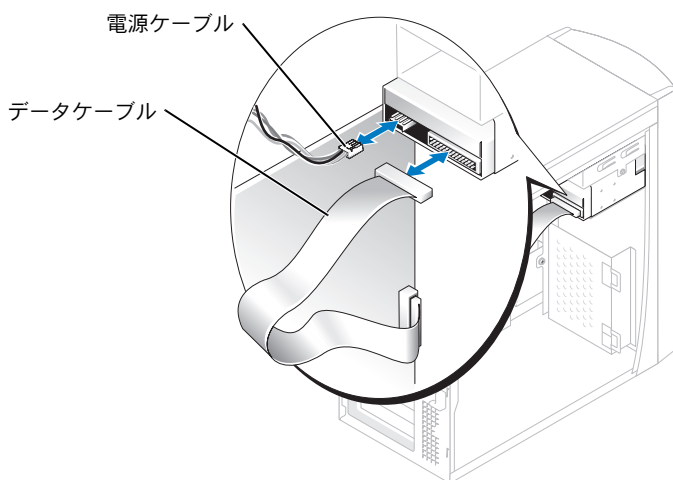




- 3 次の手順で、フロッピードライブをブラケットから取り外します。
 - a 4本のドライブ固定ネジ（両側に2本ずつ）をすべて取り外します。
 - b フロッピードライブをブラケットから取り外します。

フロッピードライブの取り付け

- 1 フロッピードライブブラケットをコンピュータから取り外します（77ページを参照）。
- 2 フロッピードライブを交換する場合は、ドライブをブラケットから取り外します（77ページを参照）。
- 3 次の手順で、フロッピードライブブラケットをフロッピードライブに取り付けます。
 - a ドライブのネジ穴をブラケットのネジ穴に合わせます。
 - b 4本のドライブ固定ネジ（両側に2本ずつ）をすべて差し込んで締めます。

- 4 フロッピードライブブラケットの上部が上部ドライブベイの底部と揃うように置き、フロッピードライブブラケットを所定の位置まで前方にスライドさせます。
-  **メモ：**フロッピードライブブラケットの上部には2つのスロットがあり、このスロットは上部ドライブベイの底部にある2つのクリップに収まります。フロッピードライブブラケットが正しく設置されている場合は、所定の位置に固定されます。
- 5 ドライブに付属する上部ブラケットのネジでフロッピードライブブラケットを固定します。
- 6 前面パネルを取り付けます (69 ページ を参照)。
- 7 データケーブルをドライブの背面とシステム基板上のフロッピードライブコネクタに接続します (59 ページ を参照)。



-  **注意：**ケーブルの色帯をドライブの1番ピン (「1」とマークされています) と合わせます。
- 8 前面パネルを取り付けます (69 ページ を参照)。
- 9 コンピュータカバーを取り付けます (86 ページ を参照)。
-  **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 10 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。
- 11 セットアップユーティリティを起動し (90 ページ を参照)、該当する **Diskette Drive** (ディスケットドライブ) オプションをアップデートします。
- 12 Dell Diagnostics (診断) プログラム を実行して、コンピュータが正しく動作することを確認します (40 ページ を参照)。

CD/DVD ドライブ

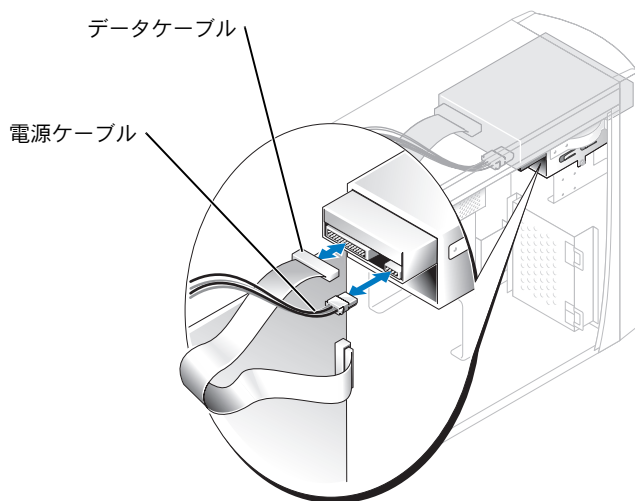
⚠ 警告：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。

⚠ 警告：感電防止のため、カバーを開く前に必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

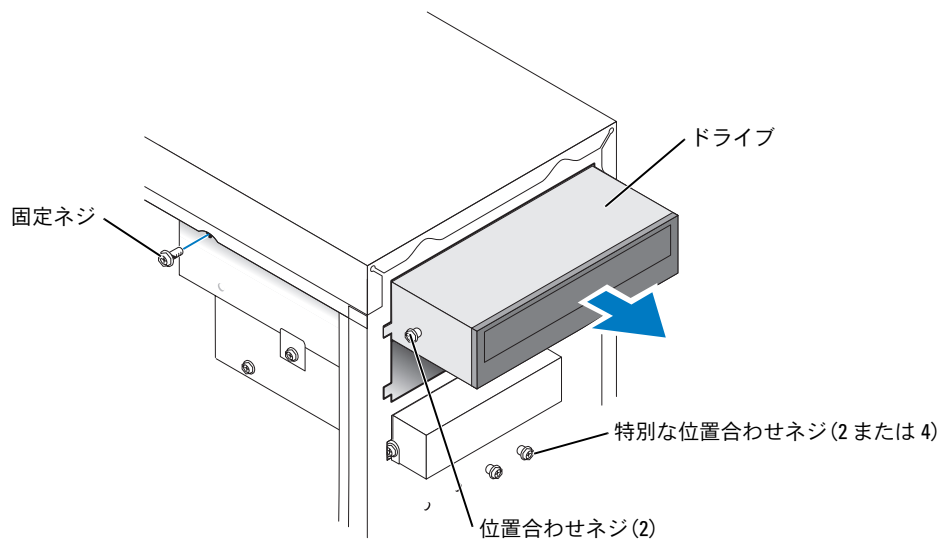
- 1 「作業を開始する前に」(51 ページ) の手順に従ってください。
- 2 コンピュータカバーを取り外します (57 ページ を参照)。
- 3 前面パネルを取り外します (67 ページ を参照)。

CD/DVD ドライブの取り外し

- 1 電源ケーブル、オーディオケーブル、および CD/DVD ドライブケーブルをドライブの背面とシステム基板から取り外します。



- 2 CD/DVD ドライブ固定ネジを取り外します。
- 3 ドライブを前方にスライドさせ、ドライブベイから取り外します。



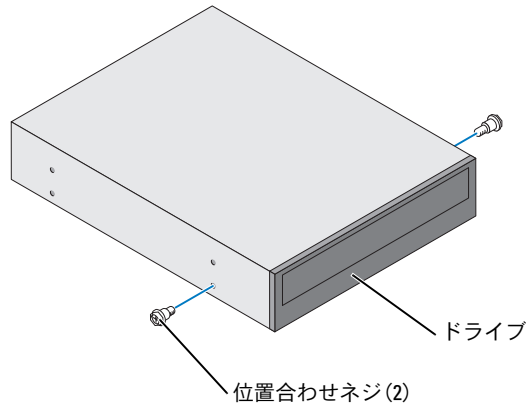
CD/DVD ドライブの取り付け

- 1 新しいドライブを取り付ける場合は、ドライブを箱から取り出して取り付けの準備をします。
ドライブに付属のマニュアルを参照して、ドライブの設定がお使いのコンピュータに合っていることを確認します。IDE ドライブを取り付ける場合は、ドライブを「cable select」に設定します。
 - 2 ドライブを交換する場合は、既存のドライブを取り外します（79 ページ を参照）。
 - 3 ドライブをドライブベイの所定の位置まで慎重にスライドさせます。
 - 4 ドライブを所定の位置に置いたら、ドライブが完全に装着されるまで力を加えます。
 - 5 ドライブに付属する固定ネジを使用して、ドライブをコンピュータに取り付けます。
- ➡ 注意：**ケーブルの色帯をドライブの1番ピン（「1」とマークされています）と合わせます。
- 6 システム基板に電源コードを接続します（59 ページ を参照）。
 - 7 電源ケーブルと CD/DVD ドライブケーブルをドライブとシステム基板に接続します（59 ページ を参照）。
 - 8 専用のコントローラカードが付いているドライブを取り付ける場合、コントローラカードはカードスロットに取り付けます。
 - 9 前面パネルを取り付けます（69 ページ を参照）。

- 10 コンピュータカバーを取り付けます（86 ページ を参照）。
- ➡ **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 11 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。
- 12 セットアップユーティリティを起動し（90 ページ を参照）、該当する **Drive**（ドライブ）オプションを選択します。
- 13 Dell Diagnostics（診断）プログラム を実行して、コンピュータが正しく動作することを確認します（40 ページ を参照）。

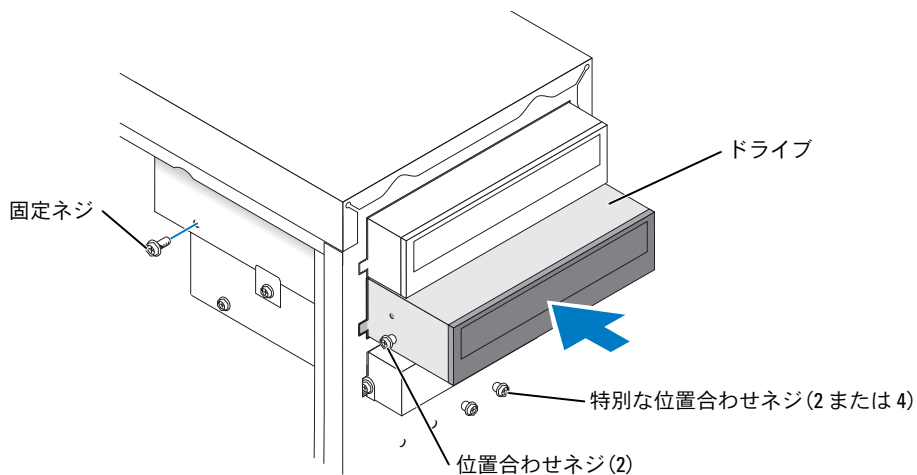
セカンド CD または DVD ドライブの追加

- 1 新しいドライブのジャンパ設定が「cable select」に設定されているか確認します（ドライブに付属のマニュアルを参照）。
- 2 82 ページ に示す 2 本の特別な位置合わせネジをコンピュータの正面から取り外し、ドライブに差し込みます。



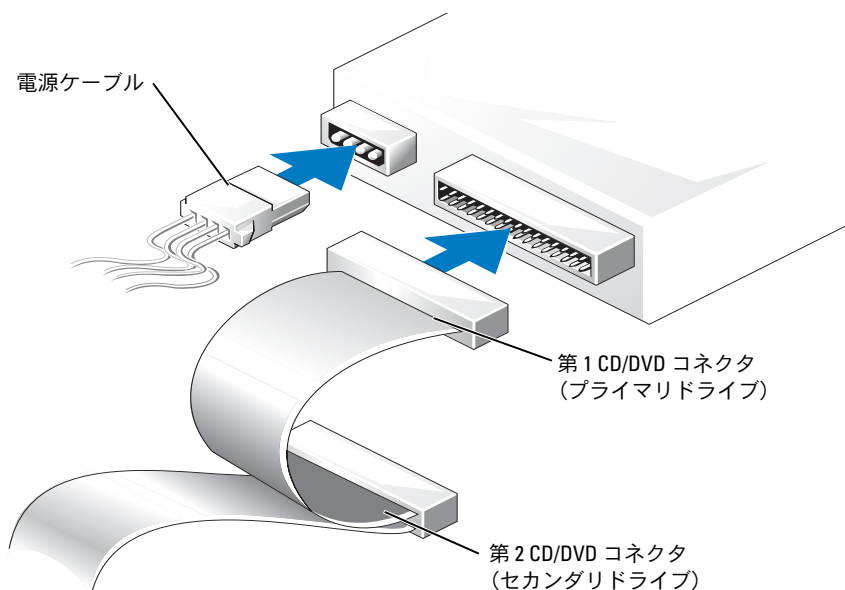
メモ：特別な位置合わせネジの数は、コンピュータによって 2 本または 4 本になります。この手順では、2 本の位置合わせネジが必要です。

- 3 ドライブをドライブベイの所定の位置まで慎重にスライドさせます。




- 4 ドライブを所定の位置に置いたら、ドライブが完全に装着されるまで力を加えます。
- 5 ドライブに付属する固定ネジを使用して、ドライブをコンピュータに取り付けます。
- ➡ **注意：**ケーブルの色帯をドライブの1番ピン（「1」とマークされています）と合わせます。
- 6 システム基板に電源コードを接続します（59 ページ を参照）。


- 7 上部ドライブベイの CD または DVD ドライブからデータケーブルを探し、そのミドルデータコネクタを新しいドライブに接続します。



- 8 前面パネルを取り付けます (69 ページ を参照)。
- 9 コンピュータカバーを取り付けます (86 ページ を参照)。
- ➡ **注意:** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 10 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 11 ドライブの動作に必要なソフトウェアをインストールする手順については、ドライブに付属のマニュアルを参照してください。


バッテリー

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。

 **注意：**コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を逃がしてください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を逃がすことができます。


コイン型バッテリーは、コンピュータの設定、日付、時刻の情報を保持します。バッテリーの寿命は数年です。

コンピュータの電源を入れた後、繰り返し時刻と日付の情報をリセットする必要がある場合は、バッテリーを交換します。

 **警告：**新しいバッテリーは、正しく装着しないと破裂するおそれがあります。バッテリーは、必ず同一または同等の、製造元が推奨するタイプのもので交換してください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。

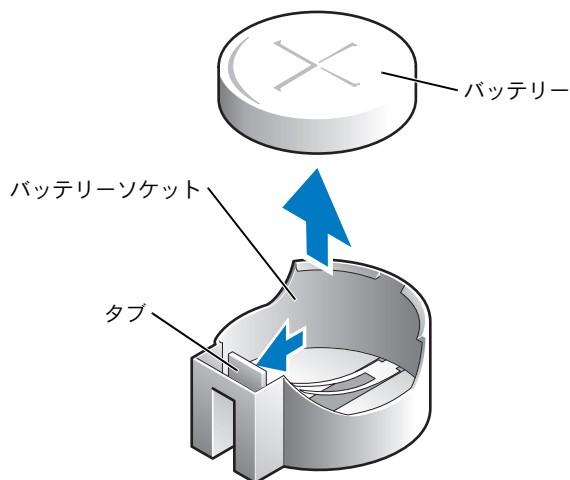
バッテリーを交換するには、次の手順を実行します。

- 1 手順 8 で正しい設定に戻すことができるように、セットアップユーティリティ画面をすべて記録します (91 ページ を参照)。
- 2 「作業を開始する前に」 (51 ページ) の手順に従います。
- 3 バッテリーソケットの位置を確認します (「システム基板のコンポーネント」 (59 ページ) を参照)。

 **注意：**道具 (先端の鋭くないものを使用してください) を使用して、バッテリーをソケットから取り出す場合は、道具がシステム基板に触れないよう注意してください。バッテリーを取り出す前に、道具がバッテリーとソケットの間に挿入されていることを確認してください。確認しないと、ソケットをこじ開けたり、システム基板の回路トレースを壊したりして、システム基板を損傷するおそれがあります。


- 4 指または先端が尖っていない絶縁プラスチック製ドライバなどの道具を使用して、慎重にバッテリーをソケットから取り外します。


- 5 バッテリーの「+」側を上に向けて新しいバッテリーをソケットに挿入し、バッテリーを所定の位置にカチッとはめ込みます。



- 6 コンピュータカバーを取り付けます (86 ページ を参照)。
- ➡ **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 7 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 8 セットアップユーティリティを起動 (91 ページ を参照) して、手順 1 で記録した設定に戻します。
- 9 古いバッテリーは適切に廃棄します (『製品情報ガイド』の「バッテリーの廃棄」を参照してください)。

コンピュータカバーの取り付け

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、本項の手順を開始してください。

- 1 すべてのケーブルが確実に接続され、ケーブルが邪魔にならないように束ねられていることを確認します。
電源ケーブルを軽く自分の方に引っ張り、ドライブの下にはさまらないようにします。
 - 2 コンピュータの内部に工具や余った部品が残っていないことを確認します。
 - 3 カバーをコンピュータにかぶせます。
 - 4 所定の位置に完全に収まるまで、カバーをコンピュータの正面方向にスライドさせます。
-  **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 5 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

付録

仕様

プロセッサ	
プロセッサタイプ	HT テクノロジ搭載 Intel® Pentium® 4 および Intel Celeron® メモ ：すべての Pentium 4 プロセッサがハイパースレッディングをサポートしているわけではありません。
L1 (レベル 1) キャッシュ	8 KB
L2 (レベル 2) キャッシュ	128 KB または 512 KB (コンピュータ構成に応じて) パイプラインバースト、8 ウェイセットアソシエティブ、ライトバック SRAM
メモリ	
タイプ	333 MHz と 400 MHz の DDR SDRAM メモ ：Celeron 400MHz FSB プロセッサで構成されている場合、DDR333 および DDR400 メモリは 266 MHz で動作します。 メモ ：Pentium 4 800MHz FSB プロセッサで構成されている場合、DDR333 メモリは 320MHz で動作します。
メモリコネクタ	2 つ
メモリ容量	128 MB、256 MB、512 MB、または 1 GB 非 ECC
最小メモリ	128 MB メモ ：サポートグラフィックに割り当てられるシステムメモリは、システムメモリのサイズやその他の要因によって 1 ~ 64 MB になります。
最大搭載メモリ	2 GB
BIOS アドレス	F0000h
コンピュータ情報	
チップセット	Intel 865 GV
DMA チャンネル	7
割り込みレベル	24

コンピュータ情報（続き）

BIOS チップ (NVRAM)	4 Mb
NIC	10/100 通信が可能なオンボード NIC
システムクロック	Intel Pentium 4:800 MHz Intel Celeron:533 MHz

Video（ビデオ）

タイプ	オンボード Intel Extreme Graphics 2
-----	--------------------------------

オーディオ

タイプ	AC97、Sound Blaster エミュレーション、2.1 を実装した ADI 1980 オーディオコントローラ
-----	--

拡張バス

バスのタイプ	PCI
バス処理速度	33 MHz

PCI

コネクタ	3 つ
コネクタのサイズ	120 ピン
コネクタのデータ幅（最大）	32 ビット

ドライブ

外部アクセス可能：

フロッピードライブ用のベイが 1 つ、CD/DVD ドライブ用のベイが 2 つ

利用可能なデバイス

フロッピードライブ、USB メモリデバイス、CD ドライブ、CD-RW ドライブ、DVD ドライブ、DVD-RW ドライブ、および DVD と CD-RW のコンボドライブ

内部アクセス可能：

1 インチ高の IDE ハードドライブ（1 台）用のベイが 1 つ

コネクタ

外付けコネクタ：

シリアル	9 ピンコネクタ、16550C 互換
パラレル	双方向 25 ピンコネクタ（双方向）

コネクタ (続き)

Video (ビデオ)	15 ピンコネクタ
ネットワークアダプタ	RJ45 コネクタ
PS/2 (キーボード / マウス)	6 ピン ミニ DIN
USB	USB 2.0 準拠コネクタ P6 (前面パネルに 2 つと背面パネルに 4 つ)
オーディオ	ライン入力、ライン出力、マイク用のコネクタが 3 つ、およびヘッドフォン用の前面パネルコネクタが 1 つ

システム基板コネクタ：

プライマリ IDE ドライブ	PCI ローカルバス上の 40 ピンコネクタ
セカンダリ IDE ドライブ	PCI ローカルバス上の 40 ピンコネクタ
フロッピードライブ	34 ピンコネクタ
CD オーディオ	4 ピンコネクタ
ファン	3 ピンコネクタ

ボタンとライト

電源ボタン	押しボタン
ハードドライブライト	緑色
リンク保全ライト (内蔵ネットワークアダプタ上)	10 Mb 伝送時はライトの点灯なし、100 Mb 伝送時は緑色のライト
アクティビティライト (内蔵ネットワークアダプタ上)	黄色の点滅ライト
診断ライト	背面パネルにライトが 4 つ

電源

DC 電源装置：

ワット数	250 W
熱散逸	853 BTU/時 メモ： 熱消費は電源ユニットの定格に基づいて算出したものです。

電圧 (電圧設定に関する重要な情報については『製品情報ガイド』の「安全にお使いいただくために」を参照してください) 手動選択電源ユニット — 90 ~ 135 V (50/60 Hz) ; 180 ~ 265 V (50/60 Hz)

バックアップバッテリー	3 V CR2032 コイン型リチウム電池
-------------	-----------------------

サイズと重量

高さ x 幅 x 奥行 36.8 × 18.4 × 42.6 cm

重量 10.4 kg

環境

温度：

動作時 10 ～ 30°C
メモ：30°C で、最大動作高度は 914 m です。

保管時 -40 ～ 65°C

相対湿度 20% ～ 80%（結露しないこと）

最大振動：

動作時 0.25 GRMS（3 ～ 200 Hz、0.5 オクターブ/分）

保管時 2.20 GRMS（10 ～ 500 Hz、1 オクターブ/分）

最大耐久衝撃：

動作時 105 G、2 ミリ秒

保管時 596.9 cm/ 秒の速度変化で 32 G

高度：

動作時 -15.2 m ～ 3,048 m
メモ：30°C で、最大動作高度は 914 m です。

保管時 -15.2 ～ 10,670 m

セットアップユーティリティ

概要

セットアップユーティリティは次の場合に使用します。

- コンピュータに対してハードウェアの取り付け、変更、取り外しを行った後に、システム設定情報を変更する場合
- ユーザーパスワードなどの、ユーザーが選択可能なオプションを設定または変更する場合
- 現在のメモリの容量を調べたり、取り付けたハードドライブの種類を設定する場合

セットアップユーティリティを使用する前に、システム設定画面の情報を控えておくことをお勧めします。



注意：コンピュータの操作に詳しい方以外は、このプログラムの設定を変更しないことをお勧めします。変更内容によっては、コンピュータが正しく動作しないことがあります。

セットアップユーティリティの起動

- 1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
- 2 青い DELL™ ロゴの画面が表示されたら、<F2> キーをすぐに押します。

キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。デスクトップが表示されたら、コンピュータをシャットダウンして（51 ページ を参照）、操作をやり直してください。

セットアップユーティリティ画面

セットアップユーティリティ画面には、お使いのコンピュータの現在の（または変更可能な）設定情報が表示されます。画面の情報は、以下の 3 つの領域に分割されています。オプションのリスト、アクティブなオプションのフィールド、キー操作。

<p>Options List（オプションリスト） — このフィールドは、セットアップユーティリティウィンドウの左側に表示されます。このフィールドは、スクロール付きのボックスで、お使いのコンピュータの設定（搭載しているハードウェア、省電力、およびセキュリティ機能など）を示す機能を一覧表示します。</p>	<p>Option Field（オプションフィールド） — このフィールドには、各オプションの説明が表示されます。このフィールドでは、現在の設定を表示したり設定を変更できます。</p> <p>左右の矢印キーを使用して、オプションをハイライト表示します。選択をアクティブにするには、<Enter> を押します。</p>
<p>上下の矢印キーで、リストを上下にスクロールしてください。オプションをハイライト表示すると、Option Field（オプションフィールド）にオプションの詳細、現在の設定、および利用可能な設定が表示されます。</p> <p>各メインオプションフィールドを展開したり折りたたんだりするには、<Enter> を押します。</p>	<p>Key Functions（キー操作） — このフィールドは Option Field（オプションフィールド）の下に表示され、キーに割り当てられた機能をアクティブなセットアップユーティリティフィールド内に一覧表示します。</p>

セットアップユーティリティのオプション



メモ：コンピュータや取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示されている項目が表示されなかったり、記載どおりに表示されないことがあります。

System (システム)	
System Time (システム時刻)	システムクロックの時刻を形式に従って表示します。
System Date (システム日付)	「曜日 / 月」の形式で日付を示します。
Drive Configuration (ドライブ構成)	
Diskette Drive (ディスク ドライブ)	システム基板の FLOPPY コネクタに接続されたフロッピードライブを識別して定義します。定義の種類は、 Off (オフ)、 USB 、 Internal (内蔵) または Read Only (読み取り専用) です。
Primary Master Drive (プライマリマスター ドライブ)	システム基板の PRI IDE コネクタに接続されたドライブを識別し、ハードドライブの容量を一覧表示します。
Primary Slave Drive (プライマリスレ ーブドライブ)	PRI IDE に接続されたプライマリマスタードライブに対するスレーブドライブを識別し、定義します。 Off (オフ) または Auto (自動) に設定でき (ドライブを検出)、ドライブが存在する場合は、容量を一覧表示します。
Secondary Master Drive (セカンダリ マスタードライブ)	システム基板の SEC IDE コネクタに接続されたドライブを識別し、ハードドライブの容量を一覧表示します (CD/DVD ドライブなどのオプティカルデバイスの場合は n/a と表示)。
Secondary Slave Drive (セカンダリスレ ーブドライブ)	SEC IDE に接続されたセカンダリマスタードライブに対するスレーブドライブを識別し、定義します。 Off (オフ) または Auto (自動) に設定でき (ドライブを検出)、ドライブが存在する場合は、容量を一覧表示します (CD/DVD ドライブなどのオプティカルデバイスの場合は n/a と表示)。
IDE Drive UDMA (IDE ドライブ UDMA)	UDMA (Ultra Direct Memory Access 大容量ストレージインタフェース) を有効にするかどうかを識別します。

Hard-Disk Drive Sequence (ハードディスクドライブシーケンス)

システム起動の優先度が第 1 と第 2 のデバイスタイプを識別します。

- System BIOS (システム BIOS) — このセットアップユーティリティの Boot Sequence (起動順序) セクションに一覧表示されているハードドライブや CD/DVD ROM などのデバイス
- USB device (USB デバイス) — 外付けハードドライブまたは USB メモリキーなどのデバイス

デフォルトでは、**System BIOS boot devices** (システム BIOS 起動デバイス) が 1 番 (ポジション 1) で、次が **USB device** (USB デバイス) です。順序を変更するには、オプションを選択し、+ または - キーを押して、優先順位の選択を上下に移動します。

メモ：起動デバイスを挿入してコンピュータを再起動すると、このオプションがセットアップユーティリティメニューに表示されます。USB メモリデバイスから起動するには、USB デバイスを選択して、一覧の先頭に移動します。

Boot Sequence (起動順序)

ドライブを起動する順序で一覧表示します。

- Floppy device (フロッピーデバイス) — システム基板の FLOPPY コネクタに取り付けられているフロッピードライブを識別し、定義します。取り付けられているドライブがなければ、**Floppy device (not installed)** と表示されます。
- Hard-Disk Drive (ハードディスクドライブ) — ハードドライブを識別します。ドライブはドライブ文字で表示されます (**Hard Disk Drive C:** など)。
- IDE — システム基板の IDE コネクタに接続されたオプティカルドライブを識別し、定義します。ドライブが取り付けられていない場合は、**IDE CD-ROM Device (not installed)** と表示されます。

取り付けられているデバイスは、名前の横にチェックマークが付いています。デバイスを起動順序から外すには、スペースバーを押してチェックマークを外します。起動順序を変更するには、+ または - を使用して項目を上下に移動します。

Memory Information (メモリ情報)

Installed System Memory (取り付けられているシステムメモリ)	検出されたメモリの容量を識別し、一覧表示します。
System Memory Speed (システムメモリの速度)	検出されたメモリの速度を識別し、メガヘルツ (MHz) 単位で一覧表示します。サポートされているメモリの詳細については、「メモリ」(87 ページ)を参照してください。
System Channel Mode (システムチャンネルモード)	取り付けられているメモリを Dual (デュアル) または Single (シングル) チャンネルとして識別し、一覧表示します。サポートされているメモリの詳細については、「メモリ」(87 ページ)を参照してください。
AGP Aperture (AGP アパーチャ)	グラフィック専用とするメモリ容量を識別し、一覧表示します。値は、取り付けられているメモリの容量によって変わります。

CPU Information (CPU 情報)

Hyperthreading (ハイパースレッディング)	コンピュータのプロセッサがハイパースレッディングをサポートしている場合、このセクションには次のオプションが表示されます。 <ul style="list-style-type: none">• Disabled (無効) — ハイパースレッディングはオフです。• Enabled (有効) — ハイパースレッディングはオンです。
CPU Speed (CPU 速度)	プロセッサ速度を Normal (標準) または Compatible (互換) に設定するオプションを表示します。 <p>注意: CPU 速度の変更は推奨できません。これを行うと、プロセッサの稼働寿命が短くなったり、保証が無効になったりする場合があります。</p>
Bus Speed (バス速度)	プロセッサとメモリが通信する速度をメガヘルツ (MHz) で表示します。
Processor ID (プロセッサ ID)	プロセッサの Clock Speed (クロック速度) および L2 Cache Size (L2 キャッシュサイズ) を表示します。

Integrated Devices (内蔵デバイス)

Sound (サウンド)	オンボードオーディオコントローラの有効 / 無効を切り替えます。
Network Interface Controller (ネットワークインタフェースコントローラ)	NIC は On (オン) (デフォルト)、 Off (オフ)、または On w/ PXE に設定できます。 On w/ PXE 設定がアクティブな場合は (以降の起動プロセスのみで有効)、<Ctrl><Alt> を押すように指示されます。このキーの組み合わせを押すと、ネットワークサーバーからの起動方法を選択できるメニューが表示されます。起動ルーチンがネットワークサーバーから使用できない場合、コンピュータは起動順序リスト内の次のデバイスからの起動を試みます。
Mouse Port (マウスポート)	オンボード PS/2 互換マウスコントローラの有効 / 無効を切り替えます。
USB Emulation (USB エミュレーション)	On (オン) (デフォルト) に設定すると、オペレーティングシステムで USB デバイスが検出されてサポートされます。 No Boot (起動なし) オプションでは、ドライブデータに対する外部からのアクセスが制限されます。このオプションを利用すると、外付け USB デバイスを使用してコンピュータを起動することができなくなります。
USB Controller (USB コントローラ)	システムに複数の USB デバイスを接続してもデータ速度が低下しないように、 On (オン) (デフォルト) に設定します。 Off (オフ) に設定すると、接続されているすべてのポートが、1 つのポートに等しい設定済みのデータ速度を共有します。
Serial Port #1 (シリアルポート #1)	シリアルポートの設定を識別して定義します。デフォルト設定の Auto は、コネクタを自動的に特定のポート (COM1 または COM3) に設定します。
Parallel Port Mode (パラレルポートモード)	パラレルポートの設定を識別して定義します。パラレルポートには、 Off 、 AT 、 PS/2 、 EPP 、または ECP の設定があります。
Parallel Port I/O Address (パラレルポートの I/O アドレス)	パラレルポートのアドレスを識別します。
Diskette Interface (ディスケットインタフェース)	フロッピードライブインタフェースを識別し、定義します。インタフェースは、 Auto (自動)、 Read Only (読み取り専用)、または Off (オフ) に設定できます。
Primary Video Controller (プライマリビデオコントローラ)	コンピュータ上に 2 つのビデオコントローラが存在する場合、どちらがプライマリになるかを指定します。
Onboard Video Buffer (オンボードビデオバッファ)	オンボードビデオコントローラ用に予約するシステムメモリの容量を設定します。

Power Management (電源の管理)

Suspend Mode (サスペンドモード)	選択可能なオプションは、 S1 (コンピュータが低電力モードで動作するサスペンド状態) と S3 (ほとんどのコンポーネントへの供給電力を抑制または停止するスタンバイ状態) です。ただし、システムメモリはアクティブなままです。
AC Power Recovery (AC 電源の回復)	コンピュータに AC 電源が回復した場合にどうするかを設定します。
Low Power Mode (節電モード)	Low Power Mode (節電モード) を選択している場合、 Hibernate (休止状態) または Off (オフ) からのリモート起動は機能しません。
System Security (システムセキュリティ)	利用可能なシステムセキュリティオプションを表示します。
Password Status (パスワードのステータス)	セットアップパスワードを使用して、システムパスワードフィールドをロックします。フィールドをロックすると、コンピュータの起動時に <Ctrl><Enter> を押してパスワードセキュリティを無効にするオプションが利用できなくなります。
System Password (システムパスワード)	システムのパスワードセキュリティ機能の現在のステータスを Enabled (有効) または Disabled (無効) として表示します。
Setup Password (セットアップパスワード)	システムのパスワードセキュリティ機能の現在のステータスを表示し、新しいシステムパスワードの設定と検証を可能にします。
PXE BIS Default Policy (PXE BIS デフォルトポリシー)	NIC On w/PXE 機能のポリシーを Deny (拒否)、 Accept (承認)、または Reset (リセット) に設定するために使用します。「Network Interface Controller (ネットワークインタフェースコントローラ) (95 ページ) を参照してください。
Keyboard NumLock (キーボードの NumLock)	数字キーパッドのオプションを On (オン)、または Off (オフ) に設定します。この設定は、キーボードによるオプション設定より優先されます。
Report Keyboard Errors (キーボードエラーの報告)	キーボードエラーの報告を On (オン)、または Off (オフ) に設定するために使用します。
Auto Power On (自動電源オン)	自動電源が Disabled (無効) または Enabled (有効) のどちらに設定されているかを識別します。
Fast Boot (高速起動)	On (オン) (デフォルト) に設定すると、一部の設定とテストがスキップされるため、コンピュータが高速に起動します。
OS Install Mode (OS インストールモード)	OS Install Mode (OS インストールモード) を On (オン) または Off (オフ) (デフォルト) に設定します。

<p>IDE Hard Drive Acoustics Mode (IDE ハードドライブのアコースティックモード)</p>	<p>Quiet (静音) (デフォルト設定) — ハードドライブは最も静かな設定で動作します。</p> <p>Performance (パフォーマンス) — ハードドライブは最大速度で動作します。</p> <p>Bypass (バイパス) — お使いのコンピュータは、現在のアコースティックモードの設定をテストまたは変更しません。</p> <p>Suggested (推奨) — ハードドライブは、ドライブ製造元が推奨する速度レベルで動作します。</p> <p>メモ：Performance (パフォーマンス) モードへ切り替えると、ドライブはより大きなノイズを発生する場合がありますが、動作に影響はありません。</p> <p>アコースティック設定を変更しても、ハードドライブイメージは変わりません。</p>
<p>System Event Log (システムイベントログ)</p>	<p>システムのイベントログを表示します。</p>
<p>Asset Tag</p>	<p>コンピュータの固有の Asset Tag を表示します。</p>
<p>POST Behavior (POST 動作)</p>	
<p>Fastboot (高速起動)</p>	<p>On (オン) (デフォルト) に設定すると、一部の設定とテストがスキップされるため、コンピュータが高速に起動します。</p>
<p>Numlock Key (Numlock キー)</p>	<p>このオプションは、キーボードの一番右側にあるキーに関係します。 On (オン) (デフォルト) に設定すると、各キートップに表示されている数字と演算記号が有効になります。Off (オフ) に設定すると、各キーの側面に表示されているカーソル制御機能が有効になります。</p>
<p>OS Install (OS のインストール)</p>	<p>OS Install Mode (OS インストールモード) を On (オン) または Off (オフ) (デフォルト) に設定します。</p>
<p>POST Hotkeys (POST ホットキー)</p>	<p>このオプションを使用すると、コンピュータの起動時に表示されるファンクションキーを指定できます。F2 はセットアップユーティリティへのアクセスに、F12 は起動メニューへのアクセスに使用します。</p>
<p>Keyboard Errors (キーボードエラー)</p>	<p>このオプションを使用すると、コンピュータの起動時にキーボードエラーを報告するかどうかを指定できます。</p>

起動順序

この機能を使用すると、デバイスの起動順序を変更できます。

オプション設定

- **Diskette Drive** (ディスクドライブ) — コンピュータがフロッピードライブからの起動を試みます。ドライブ内のフロッピーディスクが起動用でない場合、フロッピーディスクがドライブにない場合、またはコンピュータにフロッピードライブが取り付けられていない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- **Hard Drive** (ハードドライブ) — コンピュータはプライマリハードドライブからの起動を試みます。オペレーティングシステムがドライブにない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- **CD Drive** (CD ドライブ) — コンピュータは CD ドライブからの起動を試みます。CD がドライブにない場合、あるいは CD にオペレーティングシステムがない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- **USB Flash Device** (USB フラッシュデバイス) — USB ポートにメモリデバイスを挿入し、コンピュータを再起動します。画面の右上隅に F12 = Boot Menu と表示されたら、<F12> を押します。BIOS がデバイスを認識し、USB flash オプションを起動メニューに追加します。



メモ：USB デバイスから起動するには、そのデバイスが起動可能デバイスである必要があります。デバイスのマニュアルを参照して、デバイスが起動可能であるか確認してください。

現在の起動用の起動順序の変更

フロッピードライブ、メモリキー、CD-RW ドライブなどの USB デバイスからコンピュータを再起動するときなどにも、この機能を使用できます。



メモ：USB フロッピードライブから起動する場合は、まずセットアップユーティリティでフロッピードライブを OFF に設定する必要があります (90 ページを参照)。

- 1 USB デバイスから起動するときは、USB デバイスを USB コネクタに接続します (59 ページを参照)。

- 2 コンピュータの電源を入れます (または再起動します)。

- 3 画面の右上隅に F2 = Setup, F12 = Boot Menu と表示されたら、<F12> を押します。

キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。デスクトップが表示されたら、コンピュータをシャットダウンして (51 ページを参照)、操作をやり直してください。

使用可能な起動デバイスをすべて一覧表示した **Boot Device Menu** (起動デバイスメニュー) が表示されます。各デバイスには、横に番号が付いています。

- 4 メニューの一番下で、現在の起動のみに使用するデバイスの番号を入力します。

たとえば、USB メモリキーから起動する場合は、**USB Flash Device** (USB フラッシュデバイス) をハイライト表示して <Enter> を押します。



メモ：USB デバイスから起動するには、そのデバイスが起動可能デバイスである必要があります。デバイスのマニュアルを参照して、デバイスが起動可能かどうかを確認してください。

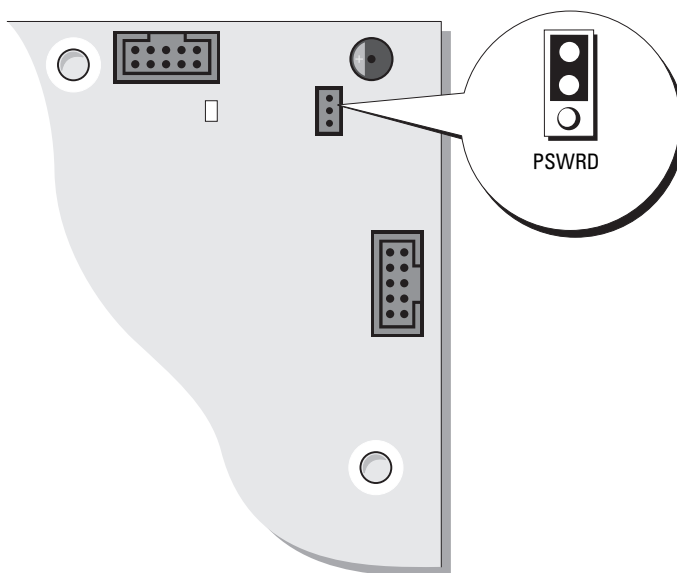
将来の起動用の起動順序の変更

- 1 セットアップユーティリティを起動します（90 ページを参照）。
- 2 矢印キーを使って **Boot Sequence**（起動順序）メニューオプションをハイライト表示し、<Enter> を押してポップアップメニューにアクセスします。
- ✎ **メモ**：後で元に戻すこともできるよう、現在の起動順序を控えておきます。
- 3 デバイスの一覧内を移動するには、上下矢印キーを押します。
- 4 デバイスを有効または無効にするには、スペースバーを押します（有効にしたデバイスにはチェックマークが付いています）。
- 5 選択したデバイスをリストの上または下に移動するには、プラス（+）またはマイナス（-）を押します。

忘れたパスワードの取り消し

⚠ **警告**：『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。


- 1 「作業を開始する前に」（51 ページ）の手順に従います。




- 2 システム基板上にある 3 ピンパスワードジャンパ（PSWD）を見つけ（59 ページを参照）、ジャンパプラグをピン 2 とピン 3 に取り付けて、パスワードをクリアします。
- ✎ **メモ**：工場出荷時は、ジャンパプラグがピン 1 とピン 2 に取り付けられています。
- 3 コンピュータカバーを閉じます（86 ページを参照）。

- 4 コンピュータおよびモニターをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 5 Microsoft® Windows® デスクトップが表示されたら、コンピュータをシャットダウンします（51 ページ を参照）。
- 6 モニターの電源を切ってコンセントから外します。
- 7 コンピュータの電源ケーブルをコンセントから外し、電源ボタンを押してシステム基板の静電気を逃がします。
- 8 コンピュータカバーを開きます（57 ページ を参照）。
- 9 システム基板上にある 3 ピンパスワードジャンパを見つけ（59 ページを参照してください）、ジャンパプラグをピン 1 とピン 2 に取り付けて、パスワード機能を再度有効にします。
- 10 コンピュータカバーを取り付けます（86 ページ を参照）。
- ➡ **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 11 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

コンピュータのクリーニング

 **警告：**『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の手順を開始してください。

コンピュータ、キーボード、およびモニター

 **警告：**コンピュータをクリーニングする前に、コンピュータの電源ケーブルをコンセントから抜きます。コンピュータのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。

- ブラシの付いた掃除機を使って、コンピュータのスロット部分や開口部、およびキーとキーボードの間から慎重にほこりを取り除きます。

➡ **注意：**モニター画面を石鹼またはアルコール溶液で拭かないでください。反射防止コーティングが損傷するおそれがあります。

- モニター画面をクリーニングするには、水で軽く湿らした柔らかくて清潔な布を使います。可能であれば、画面クリーニング専用ティッシュまたはモニターの静電気防止コーティング用の溶液をお使いください。
- キーボード、コンピュータ、およびモニターのプラスチック部分は、水と中性液体洗剤を 3 対 1 で混ぜ合わせた溶液で湿らした柔らかくて清潔なクリーニング布を使って拭きます。

クリーニング布を浸さないでください。またコンピュータやキーボードの内部に水が入らないようにしてください。

マウス

画面のカーソルが飛んだり、異常な動きをする場合は、マウスをクリーニングします。光学式でないマウスをクリーニングするには、次の手順を実行します。

- 1 マウスの底の保持リングを反時計回りに回して、ボールを取り外します。
- 2 清潔で糸くずの出ない布でボールを拭きます。
- 3 ボールケースを軽く吹いて、ほこりや糸くずを取り除きます。
- 4 ボールケース内側のローラーに汚れが堆積している場合は、イソプロピルアルコールを軽く含ませた綿棒で取り除きます。
- 5 ローラーが溝からずれてしまった場合は、中央になおします。綿棒の綿毛がローラーに残っていないか確認します。
- 6 ボールと保持リングを取り付けます。カチッと所定の位置に収まるまで、保持リングを時計回りに回します。

フロッピードライブ

- ➡ **注意：**綿棒でドライブヘッドを拭かないでください。ヘッドの位置がずれてドライブが動作しなくなることがあります。

市販のクリーニングキットを使ってフロッピードライブをきれいにします。市販のキットには通常の動作中に付着した汚れを取り除くよう前処理されたフロッピーディスクが入っています。

CD および DVD

- ➡ **注意：**CD/DVDドライブのレンズの手入れには、必ず圧縮空気を使用して、圧縮空気に付属しているマニュアルの手順に従ってください。ドライブのレンズには絶対に触れないでください。

CD や DVD がスキップしたり、音質や画質の低下がみられる場合は、ディスクを掃除してみます。

- 1 ディスクの外側の縁を持ちます。中央の穴の縁に触れることもできます。

- ➡ **注意：**円を描くようにディスクを拭くと、ディスク表面に傷をつけるおそれがあります。

- 2 糸くずの出ない柔らかな布で、ディスクの裏面（ラベルのない面）を中央から縁に向けて放射状にそっと拭きます。

頑固な汚れには、水、または石鹸を薄めた水を使用します。ディスクの汚れを落とし、ほこりや指紋、ひっかき傷などからディスクを保護する市販のディスククリーナーもあります。

CD 用のクリーニング製品は、DVD にも使用できます。

デルテクニカルサポートポリシー（米国内のみ）

サポート担当者によるテクニカルサポートでは、トラブルシューティングの過程で、お客様のご協力とご参加が不可欠です。このテクニカルサポートでは、オペレーティングシステム、ソフトウェアプログラム、ハードウェアドライバを出荷時のデフォルト設定に復元したり、ご使用のコンピュータや工場出荷時に取り付け済みのすべてのハードウェアが適切に機能しているかどうかを検証したりできます。サポート担当者によるテクニカルサポートだけでなく、support.jp.dell.com でオンラインテクニカルサポートを利用することもできます。また、有料で利用できるテクニカルサポートオプションもあります。

デルでは、コンピュータおよび「プリインストールされている」ソフトウェアや周辺機器に対して限定的なテクニカルサポートを提供しています¹。サードパーティ製のソフトウェアや周辺機器に対するサポートは、製品の製造元によって提供されます。それらの製品には、Dell Software and Peripherals、Readyware、カスタムファクトリー統合を通じて購入、インストールされたソフトウェアや周辺機器も含まれます²。

- ¹ 修理サービスは、製品保証の契約条項およびコンピュータ購入に際して交わした任意のサポートサービス契約に従って提供されます。
- ² カスタムファクトリー統合（CFI）プロジェクトに含まれているすべてのデル標準コンポーネントは、お使いのコンピュータに適用されるデルの標準製品保証の対象となっています。一方で、デルでは、コンピュータのサービス契約期間中、部品交換プログラムを拡張し、CFIで組み込まれたすべての非標準サードパーティ製ハードウェアコンポーネントに対応します。

「Dell 製品にインストールされている」ソフトウェアと周辺機器の定義

プリインストールされているソフトウェアとは、コンピュータの製造過程でインストールされるオペレーティングシステムやソフトウェアプログラム（Microsoft® Office、Norton Antivirus など）を指します。

工場出荷時に取り付け済みの周辺機器には、内蔵拡張カードやデルブランドのモジュールベイ、PC カードアクセサリが含まれます。また、デルブランドのモニター、キーボード、マウス、スピーカー、電話モデム用のマイク、ドッキングステーションやポートリプリケータ、ネットワーク製品、およびすべての関連ケーブルも含まれます。

「サードパーティ製」ソフトウェアと周辺機器の定義

サードパーティ製ソフトウェアと周辺機器には、デルが販売し、かつデルブランドでない周辺機器、アクセサリ、ソフトウェアプログラムが含まれます（プリンタ、スキャナ、カメラ、ゲームなど）。サードパーティ製のソフトウェアや周辺機器に対するサポートは、これらの製品の製造元によって提供されます。

FCC に関する注意事項（米国内のみ）

Dell コンピュータシステムのほとんどは、Federal Communications Commission（米国連邦通信委員会、FCC）によってクラス B のデジタルデバイスに分類されています。お使いのコンピュータシステムがどのクラスに分類されているかを判断するには、コンピュータの底面、側面、背面パネル、カード取り付けブラケット、およびカード自体に貼付されているすべての FCC 登録ラベルを確認してください。その中のラベルに 1 つでもクラス A と表示されたものがあつた場合は、そのシステム全体がクラス A のデジタルデバイスとなります。すべてのラベルに FCC クラス B と表示され、FCC ID ナンバーまたは FCC ロゴ（**FC**）で識別されている場合、そのシステムはクラス B のデジタルデバイスとなります。

お手元のシステムの FCC 分類を確認して、該当する FCC 規定をお読みください。FCC 規定には、デルによる明示的な承認のない変更や修正を行うと、この装置を操作する権限が取り消されることがあると定められています。

このデバイスは FCC 規定の第 15 条に準拠しています。デバイスの操作は、次の 2 つの条件の対象になります。

- このデバイスが有害な電波障害を発生させないこと。
- 好ましくない動作を引き起こす可能性のある電波障害を含め、このデバイスが受信した電波障害を受け入れること。

クラス A

この装置はテストの結果、FCC 規定の第 15 条に準拠したクラス A のデジタルデバイスに対する制限を満たすことが確認されています。これらの制限は、この装置が商用環境で使用された場合、有害な電波障害から適切に保護されるように設定されたものです。この装置は、無線周波エネルギーを発生、使用し、放射することがあります。製造者の取扱説明書に従って設置および使用されない場合、無線通信に重大な受信障害を引き起こすことがあります。この装置を住宅地域で使用すると、有害な電波障害が発生する可能性があります。その場合には自身の責任でその電波障害を解決する必要があります。

クラス B

この装置はテストの結果、FCC 規定の第 15 条に準拠したクラス B のデジタルデバイスに対する制限を満たすことが確認されています。これらの制限は、この装置が住宅地域に設置された場合、有害な電波障害から適切に保護されるように設定されたものです。この装置は、無線周波エネルギーを発生、使用し、放射することがあります。製造者の取扱説明書に従って設置および使用されない場合、無線通信の受信障害を引き起こすことがあります。特定の設置方法で電波障害が発生しないという保証はありません。この装置がラジオやテレビの受信に電波障害を引き起こすかどうかはその装置の電源をオンまたはオフにすることによって判定できますので、以下の方法を 1 つ、またはそれ以上実行して問題を解決してください。

- 受信アンテナの方向や位置を変える。
- 装置と受信機を離れた位置に置く。
- 装置の電源プラグを、受信機が接続している電気回路とは別の回路のコンセントに差し込む。
- 販売代理店または熟練したラジオ・テレビ技術者に相談する。

FCC ID 情報

次の情報は、このマニュアルで扱っているデバイスに対して、FCC 規定に従って提供されるものです。

- モデル番号：DMC
- 会社名：

Dell Inc.
One Dell Way
Round Rock, Texas 78682 USA
512-338-4400

デルへのお問い合わせ

インターネット上でのデルへのアクセスには、次のアドレスをご利用ください。

- www.dell.com/jp
- support.jp.dell.com (テクニカルサポート)
- premier.dell.co.jp/premier (プレミア、プラチナ、ゴールドカスタマーを含む教育、政府、医療機関、中規模および大規模企業のカスタマー向けテクニカルサポート)

該当する国のウェブアドレスについては、以下の表をご覧ください。

メモ：フリーコールは、サービスを提供している国内でのみご利用になれます。

デルへお問い合わせになる際には、次の表の電子アドレス、電話番号、およびコードをご利用ください。国際電話のかけ方については、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

国（都市）国際電話アクセス コード国番号市外局番	部署名またはサービス内容、ウェブサイトおよび 電子メールアドレス	市外局番 市内番号、または フリーコール
日本（川崎）	ウェブサイト： support.jp.dell.com	
国際電話アクセスコード： 001	テクニカルサポート (Dimension™ および Inspiron™)	フリーコール： 0120-198-226
国番号： 81		
市外局番： 44	テクニカルサポート（海外から） (Dimension および Inspiron)	81-44-520-1435
	FAX 情報サービス	044-556-3490
	24 時間納期情報案内サービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240
	ビジネスセールス本部（従業員数 400 人未満）	044-556-1465
	法人営業本部（従業員数 400 人以上）	044-556-3433
	エンタープライズ営業本部 (従業員数 3500 人以上)	044-556-3430
	官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス	044-556-1469
	デルグローバルジャパン	044-556-3469
	個人のお客様	044-556-1760
	代表	044-556-4300

索引

B

BIOS, 90

C

CD

コピー, 16

再生, 14

CD/DVD ドライブ

2 台目の取り付け, 81

アクティビティライト, 53

取り外し, 79

取り出しボタン, 53

取り付け, 80

問題, 22

CD-RW ドライブ

問題, 23

CD および DVD のコ

ピー, 16

CD および DVD の再生, 14

CD のコピー

役に立つヒント, 18

D

Dell Premier サポートウェ
ブサイト, 7

DVD

コピー, 16

再生, 14

DVD ドライブ

問題, 22

DVD のコピー

役に立つヒント, 18

I

IEEE 1394

問題, 26

M

Microsoft Windows

ラベル, 8

P

PCI カード

取り外し, 66

取り付け, 64

PC Restore, 46

U

USB

コネクタ, 53, 55

デバイスからの起動, 98

W

Windows XP

システムの復元, 44

スキャナー, 34

デバイスドライバのロール
バック, 43

ネットワークセットアップ
ウィザード, 12

ハイパースレッディン
グ, 19

ハードウェアに関するトラ
ブルシューティン
グ, 49

プログラム互換性ウィザ
ード, 28

ヘルプとサポートセン
ター, 8

あ

安全にお使いいただく
ために, 7

い

インターネット

接続、オプション, 13

接続、セットアップ, 13

接続、説明, 13

問題, 23

う

- ウィザード
 - ネットワークセットアップウィザード, 12
 - プログラム互換性ウィザード, 28

え

- エラーメッセージ
 - 診断ライト, 37
 - 説明, 25
- エンドユーザーライセンス契約, 7

お

- オーディオ 「サウンド」を参照
- 音量
 - 調整, 34

か

- カード
 - PCI, 64
 - PCI Express スロット, 55
 - PCI スロット, 55
 - PCI の取り外し, 66
 - PCI の取り付け, 64
 - サポートされる種類, 63
 - スロット, 55, 63
- 快適な使い方, 7

カバー

- カバーラッチ, 55
 - 取り外し, 57
 - 取り付け, 86
- 画面 「モニター」を参照

き

- キーボード
 - コネクタ, 56
 - 問題, 26
- 起動
 - USB デバイスから, 98
- 起動順序, 98
- オプション設定, 98
- 変更, 98-99

こ

- コネクタ
 - USB, 53, 55
 - キーボード, 56
 - サウンド, 55-56
 - シリアル, 56
 - 電源, 56
 - ネットワークアダプタ, 55
 - パラレル, 54
 - ビデオ, 56
 - ヘッドフォン, 53
 - マイク, 56
 - マウス, 55
 - モデム, 55
 - ライン出力, 56
 - ライン入力, 55

コンピュータ

- 以前の状態の復元, 44
- クラッシュ, 27-28
- 内部, 58
- 内部コンポーネント, 58
- 反応が停止した場合, 27

さ

- サービスタグ, 8, 54
- サウンド
 - 音量, 34
 - 問題, 34
- サウンドコネクタ
 - ライン出力, 56
 - ライン入力, 55
- サポート
 - デルへのお問い合わせ, 105
 - ポリシー, 102
- サポートサイト, 8

し

- システム基板, 59
- システムの復元, 44
- 仕様, 87
- 診断プログラム
 - デル, 40
 - ライト, 37, 54
- 診断ライト, 37

す

スキャナー
問題, 33
スピーカー
音量, 34
問題, 34

せ

製品情報ガイド, 7
設定
 セットアップユーティリ
 ティ, 90
セットアップユーティリ
 ティ, 90
 オプション, 92
 画面, 91
 起動, 91
前面パネル
 取り外し, 67
 ドライブベイクバー, 68

そ

ソフトウェア
 ハイパースレッディング,
 19
 問題, 27-28

ち

チェックディスク, 23

て

ディスプレイ 「モニター」
 を参照
テクニカルサポート
 ポリシー, 102
デル
 Dell Diagnostics (診断) プ
 ログラム, 40
 サポートサイト, 8
 サポートポリシー, 102
 問い合わせ, 105
電圧選択スイッチ, 56
電源
 コネクタ, 56
 ボタン, 54
 問題, 31
 ライト, 54
電源ライト
 状態, 31
電子メール
 問題, 23

と

ドライバ
 確認, 43
 説明, 42
ドライブ
 CD/DVD の取り外し, 79
 CD/DVD の取り付け, 80
 セカンド CD/DVD ドライ
 ブ, 81
 ハードドライブ, 71
 ハードドライブの取り外
 し, 72

ドライブ (続き)

 ハードドライブの取り付
 け, 74
 フロッピーの取り外し, 76
 フロッピーの取り付け, 77
 問題, 22
トラブルシューティング
 Dell Diagnostics (診断) プ
 ログラム, 40
 以前の状態の復元, 44
 診断ライト, 37
 ハードウェアに関するトラ
 ブルシューティン
 グ, 49
 ヒント, 21
 ヘルプとサポートセン
 ター, 8

に

認可機関の情報, 7

ね

ネットワーク
 コネクタ, 55
 セットアップ, 11
 ネットワークセットアップ
 ウィザード, 12
 問題, 30
ネットワークセットアップ
 ウィザード, 12

は

ハードウェア

Dell Diagnostics (診断)
プログラム, 40

ハードウェアに関するトラブル
シューティング, 49

ハードドライブ

アクティビティライト,
53-54

取り外し, 72

取り付け, 74

問題, 23

ハイパースレッディング, 19

パスワード

ジャンパ, 99

取り消し, 99

バッテリー

取り付け, 84

問題, 21

ひ

ビデオ

コネクタ, 56

問題, 35

ふ

部品の取り付け

コンピュータの電源切
断, 51

作業を開始する前に, 51

推奨する工具とツール, 51

プリンタ

USB, 9

ケーブル, 9

セットアップ, 9

接続, 9

パラレル, 10

問題, 32

プログラム互換性ウ

ィザード, 28

フロッピードライブ

アクティビティライト, 54

取り外し, 76

取り出しボタン, 53

取り付け, 77

へ

ヘッドフォン

コネクタ, 53

ヘルプとサポートセン

ター, 8

ヘルプファイル

Windows ヘルプとサポート
センター, 8

ほ

保証に関する情報, 7

ま

マイク

コネクタ, 56

マウス

コネクタ, 55

問題, 29

マザーボード「システム基
板」を参照

マニュアル

安全について, 7

エンドユーザーライセンス
契約, 7

オンライン, 8

快適な使い方, 7

規制, 7

製品情報ガイド, 7

保証, 7

め

メッセージ

エラー, 25

メモリ

追加, 60

問題, 29

も

モデム

コネクタ, 55

問題, 23

モニター

何も表示されない場合, 35

見づらい場合, 36

問題, 35

問題

- Dell Diagnostics (診断) プログラム, 40
- 以前の状態の復元, 44
- 診断ライト, 37
- CD ドライブ, 22
- CD-RW ドライブ, 23
- DVD ドライブ, 22
- IEEE 1394, 26
- 青色の画面, 28
- インターネット, 23
- 一般的な注意, 27
- エラーメッセージ, 25
- 音量の調整, 34
- 画面が見つらい場合, 36
- 画面に何も表示されない場合, 35
- キーボード, 26
- コンピュータがクラッシュした場合, 27-28
- コンピュータの反応が停止した場合, 27
- サウンドとスピーカー, 34
- スキャナー, 33
- ソフトウェア, 27-28
- テクニカルサポートポリシー, 102
- 電源, 31
- 電源ライトの状態, 31
- 電子メール, 23
- トラブルシューティングのヒント, 21
- ドライブ, 22
- ネットワーク, 30
- ハードドライブ, 23
- バッテリー, 21
- ビデオとモニター, 35
- プリンタ, 32

問題 (続き)

- プログラムがクラッシュする場合, 27
- プログラムが応答しなくなった場合, 27
- プログラムと Windows の互換性, 28
- メモリ, 29
- モデム, 23
- モニターが見つらい場合, 36
- モニターに何も表示されない場合, 35

ら

ライト

- CD/DVD ドライブアクティビティ, 53
- コンピュータの背面, 37
- 診断, 37, 54
- 電源, 54
- ハードドライブアクティビティ, 53-54
- フロッピードライブアクティビティ, 54

ラベル

- Microsoft Windows, 8
- サービスタグ, 8, 54

